

事務事業評価調書

事務事業名	市民劇場等運営委託事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和60年度	改正内容	実施内容の見直し											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	文化芸術振興基本法, 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律, 吹田市文化振興基本条例, 吹田市文化振興基本計													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、また、一部市民参加の事業を実施することで、親しみながら芸術文化の振興と創造を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	舞台芸術の鑑賞、また自ら参加することで、市民文化の振興と創造を高め、文化の息づくまちづくりの実現を促進する。													
(7)	事業概要	クラシックコンサートや親子向けのコンサート、バレエ、芝居など、文化会館の機能を生かした舞台芸術の鑑賞や参加型市民劇場(ジャンルや参加者対象を考慮し、開催)の機会を安価で提供している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		20,418	19,280	20,418	19,911	17,578							
		人件費	職員数	人	0.20	0.15	0.20	0.20							
			総額(B)	千円	1,671	1,206	1,634	1,580							
		総事業費(A+B)		22,089	20,486	22,052	21,491		19,189						
		特定財源(C)		10,463	12,198	10,280	13,343		7,440						
		(内訳)	国	0	0	0	0		0						
			府	0	0	0	0		0						
			その他	10,463	12,198	10,280	13,343		7,440						
		市負担(D)		11,626	8,288	11,772	8,148		11,749						
		(内訳)	地方債	0	0	0	0		0						
			その他	0	0	0	0		0						
一般財源	11,626		8,288	11,772	8,148		11,749								
財源計(C+D)		22,089	20,486	22,052	21,491		19,189								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団法人吹田市文化振興事業団										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				企画、運営、管理							
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 事業実施回数	目標値	(単位:回)	5.00	4.00	5.00	
			実績値	(単位:回)	5.00	4.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	当該年度事業実施予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,097.20	5,386.25	
				一般財源(単位:千円)		1,657.60	2,050.50	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 事業総入場率 (総入場者数/設定座席総数)	目標値	(単位:%)	70.00	70.00	70.00	
			実績値	(単位:%)	75.50	77.44		
			達成度(%)		107.9	110.6		
	目標値の積算方法	通常公演で目標とする値70%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		271.34	278.22	
				一般財源(単位:千円)		109.77	105.91	
	②	指標内容 入場者感想「よかった」の割合 (「よかった」回答者数/アンケート回答数)		目標値	(単位:%)	60.00	60.00	60.00
				実績値	(単位:%)	79.40	83.56	
				達成度(%)		132.3	139.3	
目標値の積算方法		通常公演で目標とする値60%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		258.01	257.84	
				一般財源(単位:千円)		104.38	98.16	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		音楽、演劇等幅広いジャンルの優れた作品は、市民に生きることの喜びや勇気を与え、また、安らぎをもたらしてくれます。これらの作品を安価で鑑賞できることから、市民ニーズは大変高いものとなっています。七タコンサートでは著名な演奏家がソリストとして共演するなど、舞台芸術をより身近なものと感じたとの市民の声があります。今後も、作品の鑑賞の機会の提供はもちろんのこと、市民の参加も考慮しながら市民の文化に対する要求に応えられるような内容となるよう努め、継続していきます。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民劇場等運営委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00172				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00172
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

公演出演者に係る経費は委託先の工夫で一般公演よりも安価に設定されており、事業単価として高額なものではありません。事業の内容については毎年見直しをかけています。子どもの頃から文化芸術に親しめるよう、親子を対象とした事業を実施し、対象者に周知できるように、ちらしの配布先などを工夫し、入場者増につなげています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>作品内容については、市民の声や他市の作品等を参考にしながら、ジャンルの固定化やマンネリ化の防止に心がけ、毎年度見直しを行うとともに、質の高い舞台芸術を安価で提供してきました。あわせて、高収益(入場料収入)が予測できる公演についても検討してきました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)「第7条 地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び当該地方公共団体の区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用しつつ実施する役割を果たすよう努めるものとする。」「第9条 国及び地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、必要な助言、情報の提供、財政上、金融上及び税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。」

事務事業評価調書

事務事業名	ティーンズクラシックフェスティバル事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成2年度	改正 内容	音楽コンクールについて、ピアノコンクールから10代の市民を対象とした普及育成型のクラシック音楽コンクールに改定											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	文化芸術振興基本法、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興基本計													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	10代の市民、市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	音楽コンクールをはじめとするフェスティバル行事を通して、芸術文化活動を支える人材育成を行うとともに、芸術文化の振興を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	芸術文化活動を支える人材育成や技術の向上と芸術文化への親近感の高まり													
(7)	事業概要	市内在住・在学、吹田に縁のある10歳～大学生の若者を対象とした普及育成型クラシック音楽コンクールを中心に、レッスンから入賞者によるコンサートまでを実施している。芸術文化活動を支える人材育成を行うとともに、芸術文化の振興と創造を図ることを目的に実施している。平成29年度は会場の文化会館が閉館のため会場を変更し、主にレッスン事業で実施。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,700	2,587	2,700	2,538	2,700							
		人件費	職員数	人	0.50	0.45	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	3,618	4,085	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		6,876	6,205	6,785	6,488	6,726							
		特定財源(C)		200	241	200	230	200							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	200	241	200	230	200							
		市負担(D)		6,676	5,964	6,585	6,258	6,526							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	6,676		5,964	6,585	6,258	6,526									
財源計(C+D)		6,876	6,205	6,785	6,488	6,726									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団法人 吹田市文化振興事業団										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容					企画、運営、管理						
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 ティーンズクラシックフェスティバル市民参加事業種類数	目標値	(単位:種類)	8.00	8.00	12.00	
			実績値	(単位:種類)	11.00	8.00		
			達成度(%)		137.5	100.0		
	目標値の積算方法	コンクール+レッスン+コンサート	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		564.09	827.88	
				一般財源(単位:千円)		542.18	799.13	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 ティーンズクラシックフェスティバル応募による参加者数	目標値	(単位:人)	74.00	99.00	74.00	
			実績値	(単位:人)	99.00	74.00		
			達成度(%)		133.8	74.7		
	目標値の積算方法	コンクール、レッスン参加者の前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		62.68	89.50	
				一般財源(単位:千円)		60.24	86.39	
	②	指標内容 ティーンズクラシックフェスティバル入場者・見学者数		目標値	(単位:人)	980.00	966.00	978.00
				実績値	(単位:人)	966.00	978.00	
				達成度(%)		98.6	101.2	
目標値の積算方法		コンクール、コンサート入場者+レッスン見学者の前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.42	6.77	
	一般財源(単位:千円)				6.17	6.54		
(3) が 困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田市民劇場七タコンサートでのソリストとしての共演やフレッシュコンサートでソリストとアンサンブルの両方で共演するなど、プロの演奏家と共演し、その共演者からも認められる才能ある若者の発掘、育成ができてようになってきました。今年度は、審査員とともに周知活動を行ったことにより、アンサンブルや合唱など、幅広いジャンルからの応募がありました。今後も引き続き審査員とも協力しながら、幅広く才能ある将来性豊かな演奏家の発掘、育成につながるものになうよう工夫を重ねながら継続していきます。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	ティーンズクラシックフェスティバル事業	事業区分	その他
事務事業番号	00173				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00173
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

ティーンズクラシックフェスティバルでは、再チャレンジする応募者や満を持しての応募など市独自の参加型芸術として着実に根付き始めています。
フェスティバル参加者ということで、その後、他の催し等への出演依頼があるなど多大な評価を得つつあります。
無料でのレッスン見学、予選入場、本選への市内中・高校生無料招待が周知されつつあることから、演奏者だけでなく鑑賞者の裾野を広げることにもつながっていると考えます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>普及育成型のコンクールを中心に、公益財団法人吹田市文化振興事業団と共催で実施しています。本選への市内の小・中・高校生の無料招待、出演者募集期間の前からティーンズを対象に「審査員による公開レッスン」を行うなど、クラシック音楽の担い手育成に努めています。 メシアター少年少女合唱団のオペラ公演出演や、吹田市民劇場七タコンサートにおける過去の入賞者とプロのオーケストラとの共演など、プロの演奏家からも認められる才能ある若者の発掘、育成ができるようになってきました。平成27年度は、アンサンブルや合唱など幅広いジャンルからの応募や縁を見つけての市外からの多くの応募があり、参加者の大きな刺激になっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)「第7条 地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び当該地方公共団体の区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用しつつ実施する役割を果たすよう努めるものとする。」「第9条 国及び地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、必要な助言、情報の提供、財政上、金融上及び税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。」

事務事業評価調書

事務事業名	文化振興審議会事業				
担当部署	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正 内容	委員数の是正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興審議会規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	文化振興基本計画、市民文化の振興に関すること等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市文化振興基本条例に基づき、文化の振興の総合的な推進を図る												
			豊かで幅広い文化が創造されるまちづくりを進める											
(7) 事業概要	市民公募委員、文化の専門家、学識経験者からなる委員により、文化振興に関する重要な事項を、市長の諮問に応じ、調査審議するとともに答申し、文化振興基本計画を広く市民に周知する。 審議会開催時、出席委員に対し、委員報酬を支給する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	02	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		85	34	171	77	86							
	人件費	職員数	人	0.10	0.15	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	836	1,206	817	790	806						
	総事業費(A+B)		921	1,240	988	867	892							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		921	1,240	988	867	892						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		921	1,240	988	867	892						
財源計(C+D)		921	1,240	988	867	892								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 文化振興審議会開催回数	目標値	(単位:回)	2.00	2.00	1.00
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	/
		達成度(%)		50.0	50.0		
	目標値の積算方法 文化振興審議会開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,240.00	894.00		
			一般財源(単位:千円)	1,240.00	894.00		
	(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容		目標				
	②	成果内容	豊かで幅広い文化が創造されるまちづくりが進む	達成状況	把握できない		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	文化振興基本条例に定める基本理念に基づき文化振興審議会を設置しています。積極的に市民文化の振興の総合的な推進の役割を果たすため、現行どおり継続とします。 なお、平成30年度は吹田市文化振興基本計画の策定に係る諮問をする予定で、現在、課題等の整理を行っています。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化振興審議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00174				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00174
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化振興基本計画の進捗状況について、昨年度に引き続きデータ収集を行いました。収集データの分析、活用を通じて、本市文化施策の推進状況を把握する方法について、引き続き検討することが課題となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたって、国をあげて文化振興に取り組む機運が高まっている。文化庁の京都移転に先行して、平成29年4月に地域文化創生本部が設置されている。

事務事業評価調書

事務事業名	文化会館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和60年度	改正 内容	市内使用者が大・中・小ホールを使用し、入場料等を徴収しない場合のホール等の使用料設定											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化会館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市文化会館												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民文化の向上を目的に、より効果的な管理運営を行う												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	文化会館の効率的な管理運営を行うことにより市民文化の振興と創造に期する													
(7)	事業概要	文化会館の管理運営(大・中・小ホールを中心に展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などがあり、開館時間は午前9時から午後10時まで。休館日は12月29日から翌年1月3日までと、年4日間の臨時休館がある) 平成29年度は改修工事のため閉館、平成30年度開館予定。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	31	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		362,237	341,642	358,363	357,366	230,955							
		人件費	職員数	人	1.10	0.50	0.60	0.00							
			総額(B)	千円	9,188	4,020	4,902	0							
		総事業費(A+B)		371,425	345,662	363,265	357,366	235,787							
		特定財源(C)		82,770	88,858	43,835	49,545	46,230							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	82,770	88,858	43,835	49,545	46,230							
		市負担(D)		288,655	256,804	319,430	307,821	189,557							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	288,655		256,804	319,430	307,821	189,557									
財源計(C+D)		371,425	345,662	363,265	357,366	235,787									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団法人吹田市文化振興事業団										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				施設管理運営業務全般							
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 開館日数	目標値	(単位:日)	331.00	331.00	0.00
			実績値	(単位:日)	332.00	331.00	
		達成度(%)		100.3	100.0		
	目標値の積算方法 365-(月2日保守点検日+臨時休館日+ 年末年始)平成29年度は1年間休館予定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,041.15	1,079.66		
			一般財源(単位:千円)	773.51	929.97		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 ホール及び諸室平均稼働率(利用日)	目標値	(単位:%)	74.40	75.80
	実績値			(単位:%)	75.80	75.50	
	達成度(%)		101.9	99.6			
	目標値の積算方法 前年実績値 平成29年度は1年間休館予定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,560.18	4,733.32		
			一般財源(単位:千円)	3,387.92	4,077.10		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標	
②	成果内容				達成状況		
今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		市民文化の進行と創造を図るとともに利用者の利便性を追求した効果的・効率的な運営は、市民文化の振興を図り、個性豊かな地域文化を創造するために欠かすことのできない重要なものであり、現行どおり継続とします。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化会館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00175				

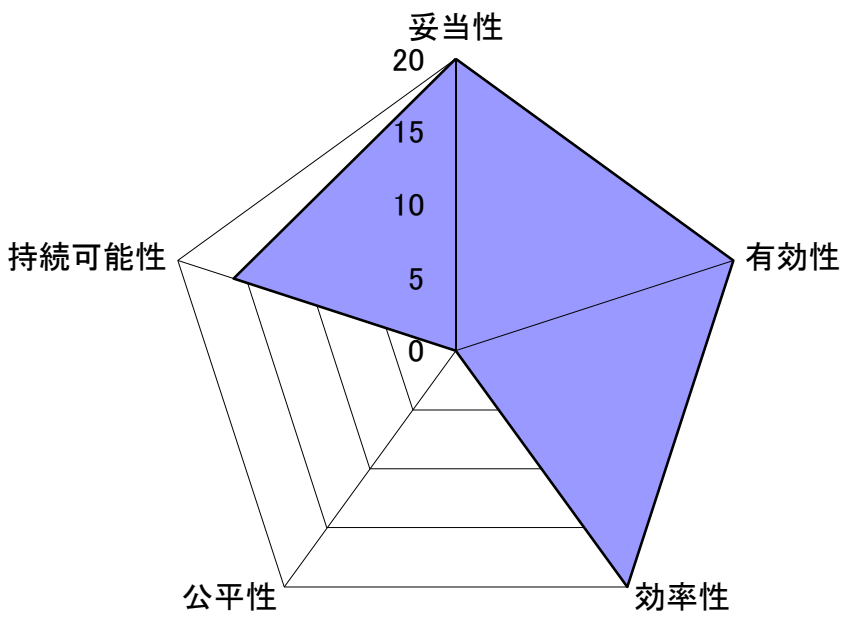
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00175
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市と現在指定管理者である(公財)文化振興事業団が連携・協力し、公益目的事業の推進のため収支均衡を図りながら、多くの市民が集うコミュニティの場として、文化発信の拠点として効果的・効率的な管理運営が行われています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年法律第49号)において「第7条 地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び当該地方公共団体の区域内の劇場、音楽堂等を積極的に活用しつつ実施する役割を果たすよう努めるものとする。」「第9条 国及び地方公共団体は、この法律の目的を達成するため、必要な助言、情報の提供、財政上、金融上及び税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。」

事務事業評価調書

事務事業名	文化会館改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化会館条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市文化会館												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	老朽化している設備を改修することにより、利用者に充実した施設を供することを目的とする。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	施設の充実を図ることにより、利用者が安心して使用することができる。												
(7)	事業概要	年度の経過とともに老朽化する設備の改修をおこなう。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	31	大事業	01	中事業	01	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	9,632	84,052	9,929	4,036,497							
		人件費	職員数	人	0.00	0.70	1.00	0.00	1.00						
			総額(B)	千円	0	5,628	8,170	0	8,052						
		総事業費(A+B)		0	15,260	92,222	9,929	4,044,549							
		特定財源(C)		0	0	0	0	11,780							
		(内訳)	国		0	0	0	0	11,780						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	15,260	92,222	9,929	4,032,769							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	2,968,300						
			その他		0	0	0	0	878,013						
一般財源			0	15,260	92,222	9,929	186,456								
財源計(C+D)		0	15,260	92,222	9,929	4,044,549									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 修繕実施件数	目標値	(単位:件)	0.00	1.00	/
			実績値	(単位:件)	1.00	6.00	
			達成度(%)		0.0	600.0	
	目標値の積算方法	修繕工事契約件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	15,260.00	1,654.83	
				一般財源(単位:千円)	15,260.00	1,654.83	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	老朽化している設備について、緊急性を要するものから順次改修を行っている。			達成状況	改修を行わなければ、物理的に貸館業務に支障が出るものを優先的に実施しているが、予算不足から工事を先送りしているものがある
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		施設の老朽化による不都合等は、市民の、文化に触れ文化活動に参加する機会の充実を阻害するものであり、早い時期の改修によって利用者により良い施設を提供する必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	文化会館改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00176				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	00176
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

老朽化による修繕対応の必要性が増加していますが、予算の都合上適切に対応できていないところがあるため、事業費だけでは評価できません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>平成27年度に、大規模改修工事に向けた基本・実施設計委託業者を選定しました。アンケートやバリアフリー市民会議などにおいて利用者意見の聴取を行い、改修項目の検討を重ねています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民ギャラリー事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成5年度	改正 内容	ギャラリー数の変更											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	市庁舎ギャラリー運営要領、地域市民ギャラリー運営要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	美術作品を展示、鑑賞する場を提供することで、文化活動の振興を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の美術的創作活動の振興と市庁舎の美観の向上を図る。													
(7)	事業概要	市庁舎ギャラリーと地域市民ギャラリー(平成13年度から順次開設、平成24年度当初5か所)で市民が創作した美術作品を展示し、訪れた市民に鑑賞してもらう。なお、千里市民センターが平成24年9月に移転、市民会館が同月末で閉鎖されたため、現在は勤労者会館、千里丘市民センター、岸部市民センターの3か所となっている。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	02	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		118	77	78	47	78							
		人件費	職員数	人	0.30	0.25	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	2,506	2,010	817	790	806						
		総事業費(A+B)		2,624	2,087	895	837	884							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		2,624	2,087	895	837	884							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			2,624	2,087	895	837	884								
財源計(C+D)		2,624	2,087	895	837	884									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	ギャラリー設置箇所数	目標値	(単位:箇所)	11.00	11.00	11.00
			実績値	(単位:箇所)	11.00	11.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	ギャラリー設置箇所数:市庁舎8+地域3	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	189.73	78.55		
				一般財源(単位:千円)	189.73	78.55		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	利用件数	目標値	(単位:件)	139.00	139.00	139.00
			実績値	(単位:件)	65.00	61.00	/	
		達成度(%)		46.8	43.9			
	目標値の積算方法	利用件数(ロビー24+地下11+夢24)+地域(36+24+24)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	32.11	14.16		
				一般財源(単位:千円)	32.11	14.16		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		展示利用者の多いギャラリーがある一方、展示利用者の少ないギャラリーもありますが、展示するスペースを公共施設内に無料で提供していることが大切であり、文化の振興・発展につながることから現行どおり継続とします。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民ギャラリー事業	事業区分	その他
事務事業番号	01055				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01055
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市庁舎正面玄関付近のギャラリーは人気が高く、展示者を抽選で決めている一方で、他のギャラリーの利用者は少ない。今後利用者の少ないギャラリーの利用のあり方について、検討する必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	南山田市民ギャラリー事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容	利用料金の改定											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立市民ギャラリー条例、吹田市立市民ギャラリー条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	南山田市民ギャラリー											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	美術作品の展示、鑑賞によって、市民文化の振興と創造を図る。												
(7) 事業概要	暮らしの身近な場で、市民が創作した美術作品を展示し、鑑賞する機会を提供することにより、市民の美術に関する創作活動を促進し、市民文化の向上を図る。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	02	中事業	03	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,059	3,034	3,219	3,169	3,262							
	人件費	職員数	人	0.30	0.25	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	2,506	2,010	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		5,565	5,044	4,853	4,749	4,873							
	特定財源(C)		160	160	124	160	124							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	160	160	124	160	124							
	市負担(D)		5,405	4,884	4,729	4,589	4,749							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		5,405	4,884	4,729	4,589	4,749								
財源計(C+D)		5,565	5,044	4,853	4,749	4,873								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	南山田地域文化推進協議会										
			②											
			③											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ギャラリー使用日数	目標値	(単位:日)	324.00	323.00	/
			実績値	(単位:日)	233.00	206.00	
		達成度(%)		71.9	63.8		
	目標値の積算方法 開館日数359日×0.9=323日	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	21.65	23.32		
			一般財源(単位:千円)	20.96	22.54		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 観覧者数	目標値	(単位:人)	6,180.00	6,180.00
	実績値			(単位:人)	4,511.00	4,387.00	
	達成度(%)		73.0	71.0			
	目標値の積算方法 実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.12	1.09		
			一般財源(単位:千円)	1.08	1.06		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		文化活動の広がりや活性化は重要であり、文化活動の場の提供と充実に努めることは重要ですが、地域性を考慮すると、今後の広がりが困難であるため、あり方について検討していく必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	南山田市民ギャラリー事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01056				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01056
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

施設の利用率を上げるため、市民文化の向上が図れるものであれば展示だけでなく、講座・講演会、教室、座談会、会議などの利用も可能とし、利用率の向上に努めていますが、駐車スペースがない、駅から遠いといった理由から一般市民の利用が伸び悩んでいます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>施設の利用率を上げるため、市民文化の向上がはかれるものであれば、展示だけでなく講座・講演会・教室、座談会、会議などの利用も可能とし、利用率の向上に努めていますが、駐車スペースがない、駅から遠いといった理由から、一般市民の利用が伸び悩んでいます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民協働学習センター事業				
担当部署	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正内容	まちづくり市民塾事業を統合。平成28年度には学塾部会、交流部会、情報部会の部会を廃止し、講座を中心に実施することとした。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	02	市民自治が育む自立のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市民、NPO等市民活動団体、大学研究機関												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市民協働のまちづくりの実現												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民自らが学ぶことで、一歩進んだまちづくりの創造を図る。												
(7) 事業概要	各地域、各分野でまちづくりについて活動している団体が、自由に意見及び情報交換を行い交流を図る場を提供すると共に、市政全般や地域貢献活動について学ぶ講座などを開催する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	02	中事業	05	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		725	571	635	386	635							
	人件費	職員数	0.70	0.55	0.50	0.50	0.50							
		総額(B)	5,847	4,422	4,085	3,950	4,026							
	総事業費(A+B)		6,572	4,993	4,720	4,336	4,661							
	(内訳)	特定財源(C)		60	73	60	80	60						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		60	73	60	80	60							
	(内訳)	市負担(D)		6,512	4,920	4,660	4,256	4,601						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	一般財源		6,512	4,920	4,660	4,256	4,601							
財源計(C+D)		6,572	4,993	4,720	4,336	4,661								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 市民協働学習センター運営委員会											
			②											
			③											
	主な委託内容		まちづくりに関する講座企画等											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	講座事業開催回数	指標内容	目標値	(単位:回)	19.00	19.00	21.00
			実績値	(単位:回)	19.00	21.00		
			達成度(%)		100.0	110.5		
	目標値の積算方法	前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	262.79	212.90		
	一般財源(単位:千円)	258.95	202.67					
	②	講座事業開催回数	指標内容	目標値	(単位:回)	12.00	12.00	12.00
実績値			(単位:回)	12.00	12.00			
達成度(%)				100.0	100.0			
目標値の積算方法		前年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	416.08	372.58		
一般財源(単位:千円)		410.00	354.67					
(2) 成果指標		①	講座事業受講者数	指標内容	目標値	(単位:人)	60.00	60.00
	実績値			(単位:人)	46.00	20.00		
	達成度(%)				76.7	33.3		
	目標値の積算方法	定員(入門講座30名、応用講座30名)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	108.54	223.55		
	一般財源(単位:千円)	106.96	212.80					
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
一般財源(単位:千円)	0.00	0.00						
(3) が困難な場合	①	活動内容		目標				
	②	成果内容		達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>市民協働学習センター運営委員会は市民団体の代表者等によって構成され、まちづくりや地域貢献活動を考える組織です。運営委員は、事業の実施だけでなく大学授業に講師として参加し、市民の視点から行政に参加する講義を行うなど、活動を行ってきました。</p> <p>毎年講座事業を実施することにより認知度も上がり、多くの講座修了者を輩出するなど、着実に実績を上げてきました。しかし近年は参加者数の伸び悩みがみられ、また事業実施者の高齢化も顕著となっています。</p> <p>事業の整理により、体制を見直すとともに事業内容も工夫をし、平成28年度については、講座事業を中心に市民公益活動センターと連携し、事業を継続していくこととします。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民協働学習センター	事業区分	その他
事務事業番号	01057				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01057
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>まちづくりについて活動している団体の交流や、これから参加しようとする市民と一緒に広い角度からまちづくりについて考える機会を提供する場として、市民公募による講座や情報交換のための交流会を開催してきました。</p> <p>旧北千里小学校閉鎖後は、主に市民公益活動センターの会議室を借用し事業を実施していますが、講座事業においてはこれまで同等規模の参加者を募ることができ、活気ある事業実施が実現できています。また、事業を委託する市民協働学習センター運営委員会においては、高齢化のために辞めていくものもみられ、事業実施者として先細りが見えてきています。</p> <p>事業の整理により、体制を見直すとともに事業内容も工夫をし、平成28年度については講座事業を中心に市民公益活動センターと連携し、事業を継続していくこととします。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市展運営委託事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和25年度	改正 内容	所管課の変更											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市文化振興基本条例 吹田市文化振興基本計画													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の文化活動を支援し都市生活者に感動と安らぎを提供する。												
(7) 事業概要	市民に創作活動の向上を図ると共に美術観賞の機会を提供することを目的とし、10月第1土曜日に満16歳以上の成人を対象に第1部:日本画、第2部:洋画、第3部:彫塑、第4部:工芸、第5部:書、第6部:写真、第7部:グラフィックデザインの各部門で公募を行い審査を経て、入選作品の展示をしている。最終日には、表彰式、作品講評会がある。 平成29年度は会場としている文化会館が閉館するため休止し、平成30年度再開予定。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	02	中事業	06	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,349	2,348	2,349	2,259	0							
	人件費	職員数	人	0.90	0.85	0.85	0.85	0.00						
		総額(B)	千円	7,517	6,834	6,945	6,716	0						
	総事業費(A+B)		9,866	9,182	9,294	8,975	0							
	特定財源(C)		346	330	330	297	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	346	330	330	297	0							
	市負担(D)		9,520	8,852	8,964	8,678	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		9,520	8,852	8,964	8,678	0								
財源計(C+D)		9,866	9,182	9,294	8,975	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市美術協会										
			②											
			③											
	主な委託内容		公募吹田市美術展覧会の審査、講評等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 出品数	目標値	(単位:点)	421.00	421.00	0.00
			実績値	(単位:点)	370.00	339.00	
			達成度(%)		87.9	80.5	
	目標値の積算方法 公募点数+審査員出展数+招待出展数の過去5年の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		24.82	27.15	
			一般財源(単位:千円)		23.92	26.27	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 入場者数	目標値	(単位:人)	2,982.00	2,743.00	0.00
			実績値	(単位:人)	2,391.00	2,603.00	
			達成度(%)		80.2	94.9	
	目標値の積算方法 過去5年1日平均入場者数×9日間	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.84	3.54	
			一般財源(単位:千円)		3.70	3.42	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		事業において、芸術的なレベルアップも効果を図る上で重要な要素ではありますが、指標として数値に表すことは非常に難しいです。 市として実施すべき事業であると考えていますが、市民文化祭と同時に周知するなど、実施方法の見直しなど工夫して継続していきます。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市展運営委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	01060				

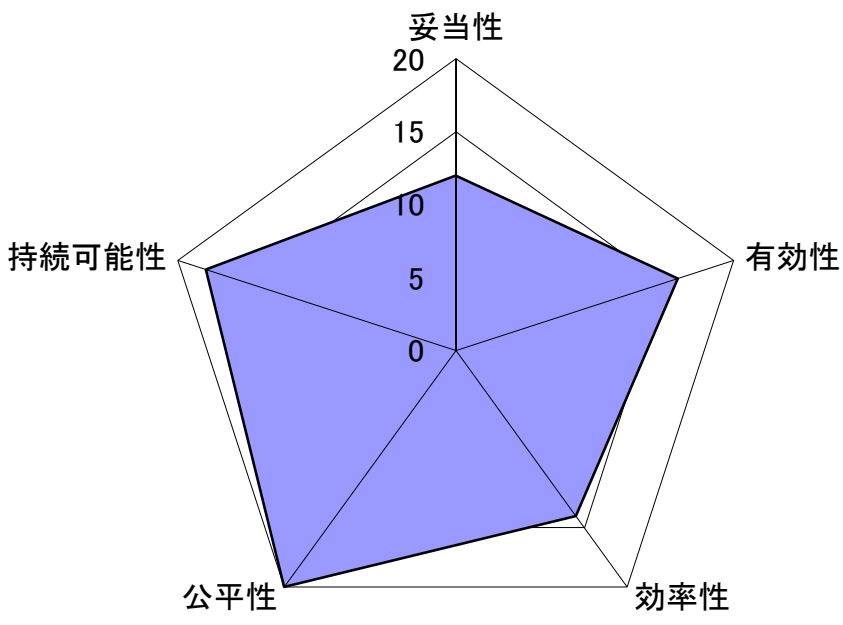
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01060
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市美術協会に委託して開催しています。市民の多様な文化活動に対応し、美術の発展と豊かな情操を養う機会として開催し、多くの出展をいただいています。 ただし、会期、準備方法等の事業内容について、更なる効率化を目指して検討を続けていく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民文化祭事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和38年度	改正 内容	芸術芸能フェスティバル事業を統合											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、吹田市文化振興基本条例、吹田市文化振興基本計													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民等											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市民の文化活動を支援し都市生活者に感動と安らぎを提供する												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の精神的なゆとりと、豊かな情操を養い、本市の芸術・文化活動の向上発展を図る												
(7) 事業概要	<p>春季・秋季に分けて、吹田市文化団体協議会に加盟する団体毎の文化祭を開催することにより、市民に芸術文化活動と芸術鑑賞の機会を提供する。 平成29年度は会場である文化会館が改修工事のため、市内公共施設により実施。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	02	中事業	07	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,094	3,073	3,094	3,075	3,094							
	人件費	職員数	0.80	0.75	0.80	0.00	0.80							
		総額(B)	千円	6,682	6,030	6,536	0	6,442						
	総事業費(A+B)		9,776	9,103	9,630	3,075	9,536							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		9,776	9,103	9,630	3,075	9,536						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		9,776	9,103	9,630	3,075	9,536						
財源計(C+D)		9,776	9,103	9,630	3,075	9,536								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田市文化団体協議会											
			② 公益財団吹田市文化振興事業団											
			③											
	主な委託内容		開催、運営											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 文化祭参加団体数	目標値	(単位:団体)	30.00	30.00	/
			実績値	(単位:団体)	30.00	30.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 文化団体協議会加盟団体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	303.43	102.50		
			一般財源(単位:千円)	303.43	102.50		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 総観客数	目標値	(単位:人)	23,800.00	25,500.00
	実績値			(単位:人)	26,472.00	27,640.00	
	達成度(%)		111.2	108.4			
	目標値の積算方法 過去3年間観客総数の平均 (平成29年度は開催施設の規模により積算)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.34	0.11		
			一般財源(単位:千円)	0.34	0.11		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	① 活動内容	市民との協働			目標	事業に協働で参加	
	② 成果内容	文化団体協議会加盟団体と市民が協働して事業開催			達成状況	市民参加と加盟団体との協働が広がっている	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	市民文化祭の開催行事に友好交流都市が招待出演したり、文化祭参加団体や市民が友好交流都市へ出向いて舞台や展示披露をするなど市民参加の広がりがみられます。また、芸術芸能フェスティバルでは文化団体と市民が舞台発表や展示を協働で実施し、あらたに体験コーナーの実施や文化交流会の開催などの広がりがみられます。さらに、地域の伝統文化教室開催団体とフェスティバルを開催するなど地域文化活動との協働の広がりができ今後も発展が見込まれます。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民文化祭事業	事業区分	その他
事務事業番号	01061				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01061
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

文化団体協議会・加盟団体は、市民文化祭に友好交流都市から招待出演をいただいたり、友好交流都市へ出向いて舞台や展示を披露するなど文化交流を進めています。また、文化団体協議会が中心となり地域で伝統文化に取り組む団体と伝統文化継承事業実行委員会を構成し、伝統文化教室フェスティバルを開催するなど地域のなかで子どもをはじめ市民に文化を広げる取組を進めています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>文化団体協議会加盟の30団体によって文化祭が開催され、多数の来場者があります。芸術芸能フェスティバルには文化団体、市民が一つの舞台・展示を作りあげ市民との文化交流会や体験活動の機会を設けるなど協働をひろげています。開催事業の見直しを行う中で委託料の見直しや工夫を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成25年度から芸術芸能フェスティバル事業を統合し、文化団体に加入していない市民が文化団体と一つの舞台・展示を作りあげ市民との協働をひろげている。今後も一層、市民の参加しやすくなるように、相互の交流が図れるように工夫し市民文化祭の内容を充実させていく必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	ロビーコンサート開催事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	文化振興基本計画						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 04	細節 10			
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	市民等				
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市民の文化活動を支援し、都市生活者に感動と安らぎを提供する。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の精神的なゆとりと豊かな情操を養い、また、本市の芸術・文化活動の向上と発展を図る。					
(7) 事業概要	昼休みの時間帯に市役所本庁舎の玄関ロビーでコンサートを開催する。						
(8) H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 23	大事業 02	中事業 08	小事業 01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		40	40	40	40	40
	人件費	職員数	人	0.20	0.15	0.10	0.10
		総額(B)	千円	1,671	1,206	817	790
	総事業費(A+B)		1,711	1,246	857	830	846
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0
		国		0	0	0	0
		府		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
	(内訳)	市負担(D)		1,711	1,246	857	830
		地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		1,711	1,246	857	830
財源計(C+D)		1,711	1,246	857	830	846	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	コンサート開催回数	指標内容	目標値	(単位:回)	3.00	2.00	3.00
			実績値	(単位:回)	2.00	3.00		
			達成度(%)		66.7	150.0		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		623.00	285.67	
				一般財源(単位:千円)		623.00	285.67	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
一般財源(単位:千円)					0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	観客数	指標内容	目標値	(単位:人)	180.00	80.00	120.00
			実績値	(単位:人)	80.00	120.00		
			達成度(%)		44.4	150.0		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		15.58	7.14	
				一般財源(単位:千円)		15.58	7.14	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
一般財源(単位:千円)					0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>芸術文化活動の発表と鑑賞の機会を提供するコンサートとして、また市民の心にゆとりをもたらす事業として市民に親しまれていることから、現行どおり継続します。 ただし、会場がロビーということで、昼窓を実施する職場について考慮しつつ、コンサート回数や観客の増加を図るため、開催日を定期的、定例的にするなど工夫が必要と考えます。 出演者やロビー使用可能日の都合上、開催の希望があっても、実現できないケースもあり、例年2~4回実施に止まっています。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	ロビーコンサート開催事業	事業区分	その他
事務事業番号	01062				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01062
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

毎年新春恒例の行事として取り組むことで、行事が市民にも浸透し楽しみにされている。以前には年2回開催であったものを見直して、市役所ロビーを貸して発表する機会を求めている市民の方に提供している「にぎわいライブ」で対応してきている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>新年の風物詩としてコンサートを楽しみにしている市民が多くいます。また、不定期で開催しているにぎわいライブについても好評を得ています。春に開催し、出演者とも調整し演奏だけではなく楽器の解説や演奏曲の解説などもいれていただき伝統文化や邦楽に関心を持っていただけるように取り組んでいます。しかし、出演者や、ロビー使用可能日の都合上、開催の希望があっても、実現できないケースもあり、例年2～4回実施に止まっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市文化功労者表彰事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	表彰事業の市長部局への統合											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	吹田市文化振興基本条例、吹田市文化功労者表彰要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	文化・スポーツ団体等文化の振興に功績のあった個人及び団体												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民文化の活性化												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市長表彰を行うことにより、市民文化の更なる振興を図る。												
(7)	事業概要	学術、芸術・芸能及び社会教育、体育振興等において、本市の文化振興に貢献し、その功績が顕著であると認められる個人・団体に対し、市長表彰を行いその功績をたたえる。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	23	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		360	285	360	279	346							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		4,536	4,305	4,445	4,229	4,372							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		4,536	4,305	4,445	4,229	4,372						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			4,536	4,305	4,445	4,229	4,372								
財源計(C+D)		4,536	4,305	4,445	4,229	4,372									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団吹田市文化振興事業団										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(4) 総合評価	①	活動内容	関係部署から推薦を基に実績や功績を確認し、被表彰者を決定した。また、被表彰者名を市報で広く周知した。			目標	文化の日に表彰式典を開催し、被表彰者の功績を称え市長表彰を行う。
	②	成果内容	各分野で顕著な功績をあげられた32名の方々が表彰を受けられた。			達成状況	被表彰者だけではなく本市市民全体の文化振興の高揚と活性化を図ることができた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市文化振興基本条例で、「市は、文化の振興に関し功績のあった個人及び団体の顕彰に努めるものとする」と規定されており、文化振興に係る権威の高い表彰として、本事業を実施しています。被表彰者の日頃の努力やその意思に敬服し、これまでの功績を称え、市民に広く周知することは、被表彰者にとって今後の継続の励みとなるだけでなく、被表彰者はもとより他の市民の文化意識の高揚を図るものとなっており、本市の文化振興の活性化に必要な事業です。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	吹田市功労者表彰事業	事業区分	その他
事務事業番号	01063				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

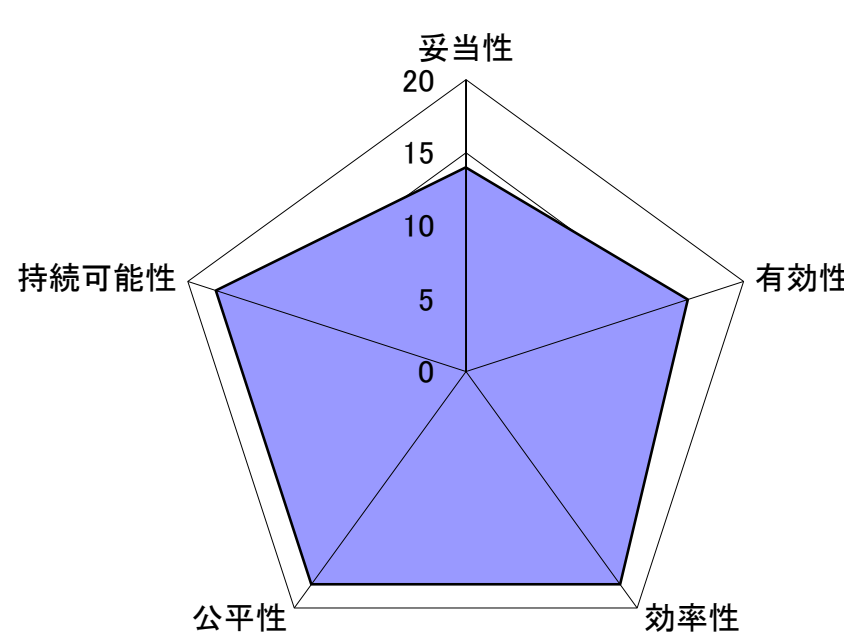
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01063
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

吹田市文化振興基本条例の中で、文化振興に関する基本的施策のひとつに、市は、文化の振興に関し功績のあった個人および団体の顕彰に努めると規定されている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>教育委員会で行っていた「文化の日表彰」と旧文化のまちづくり室で行ってきた「文化功労者表彰」を一本化し、本市の文化振興における最高権威の表彰として被表彰者のこれまでの功績を称え表彰を行っています。市民の日頃からのたゆまぬ努力を表彰することにより、被表彰者はもとより他の市民にとっても文化振興の輪をを広げるものとなっています。また表彰式では、表彰状の授与を行うだけでなく、被表彰者や御来場の方々に楽しくまた文化芸術を感じていただける式典を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	歴史と文化のまちづくり施設管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正内容	貸室の追加											
(2) 直近の改正	平成24年													
(3) 根拠法令等	吹田歴史文化まちづくりセンター条例、吹田歴史文化まちづくりセンター条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田歴史文化まちづくりセンター											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための施設の管理を行う。 まちに個性、魅力及び潤いをもたらし、地域社会の発展に寄与する。												
(7) 事業概要	吹田市歴史文化まちづくりセンターの施設の維持管理をし、歴史・文化のまちづくり活動についての施設の提供を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	25	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22,732	22,421	24,160	24,074	23,444							
	人件費	職員数	人	0.40	0.45	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	3,341	3,618	2,451	2,370	2,416						
	総事業費(A+B)		26,073	26,039	26,611	26,444	25,860							
	特定財源(C)		643	947	737	1,003	826							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	643	947	737	1,003	826							
	市負担(D)		25,430	25,092	25,874	25,441	25,034							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		25,430	25,092	25,874	25,441	25,034								
財源計(C+D)		26,073	26,039	26,611	26,444	25,860								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(特非)吹田歴史文化まちづくり協会										
			②											
			③											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	利用件数	目標値 (単位:件)	4,448.00	4,448.00	4,448.00
				実績値 (単位:件)	2,474.00	2,657.00	
				達成度(%)	55.6	59.7	
	目標値の積算方法	6室×353日(年末年始6日・臨時休館6日除く)×3コマ×70%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.53	9.98	
				一般財源(単位:千円)	10.14	9.61	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00
				実績値 (単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法		実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	観覧者数+利用者数	目標値 (単位:人)	20,649.00	20,893.00
				実績値 (単位:人)	20,893.00	21,931.00	
				達成度(%)	101.2	105.0	
	目標値の積算方法	実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.25	1.21	
				一般財源(単位:千円)	1.20	1.16	
	②	指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	本事業は地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための施設の管理を行うという大切な事業であり、まちに潤いをもたらすものです。利用者からの満足度も高いことから現行どおり継続します。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	歴史と文化のまちづくり施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01064				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
内部管理		点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01064
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るための施設ですが、一般的な建造物とは異なる古民家の特殊性から、計画的な改修を図っていく必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	歴史と文化のまちづくり活動推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成15年度	改正 内容	補助金要領改正(機構改革)											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田歴史文化まちづくりセンター条例、吹田歴史文化まちづくり事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るため事業を実施する。												
(7) 事業概要	吹田歴史文化まちづくりセンターにおいて、地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させるため、文化教養講座や季節行事、伝統芸能等の事業を実施する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	25	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,870	3,837	3,870	3,827	3,870							
	人件費	職員数	人	0.30	0.15	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	2,506	1,206	2,451	2,370	2,416						
	総事業費(A+B)		6,376	5,043	6,321	6,197	6,286							
	特定財源(C)		45	85	45	79	74							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	45	85	45	79	74							
	市負担(D)		6,331	4,958	6,276	6,118	6,212							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		6,331	4,958	6,276	6,118	6,212								
財源計(C+D)		6,376	5,043	6,321	6,197	6,286								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(特非)吹田歴史文化まちづくり協会										
			②											
			③											
	主な委託内容		歴史文化に係る事業等											
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	(特非)吹田歴史文化まちづくり協会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 事業実施回数	目標値	(単位:回)	63.00	70.00	72.00	
			実績値	(単位:回)	70.00	72.00		
			達成度(%)		111.1	102.9		
	目標値の積算方法	過去5年の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		72.04	87.19	
				一般財源(単位:千円)		70.83	86.10	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 事業延参加者数	目標値	(単位:人)	4,097.00	4,097.00	4,097.00	
			実績値	(単位:人)	3,987.00	3,951.00		
			達成度(%)		97.3	96.4		
	目標値の積算方法	実績の最大値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.26	1.59	
				一般財源(単位:千円)		1.24	1.57	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>地域に息づく歴史や文化を学び、保存・発展させ、また、歴史・文化のまちづくりに関わる市民相互の交流及び連携の促進を図るため、季節行事、地域交流事業、まちづくり関連事業、郷土史調査研究などの委託事業やまちの賑わい創出事業、文化教養事業、伝統芸能、芸術芸能事業、交流事業などの補助事業に活発に取り組んでいます。また平成28年度には夏のつどいとして「プラネタリウムがやってくる」を開催し、新たな取り組みを実施しました。</p> <p>十分に設立の趣旨に対応した事業が行われており、現行どおり継続します。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	歴史と文化のまちづくり活動推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01065				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01065
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

施設設立の趣旨に対応した多様な事業を開催することにより、広く周知することができました。今後は、さらに市民のニーズに合った事業を開催することにより、市民にとって「文化の拠点」になるよう、引き続き展開を進める必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five evaluation criteria: 妥当性 (Appropriateness), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The chart shows high scores in all categories, with 妥当性 reaching the maximum value of 20.</p>		
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	国内都市交流事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成14年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	各市町とのフレンドシップ交流調印書							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 04	細節 20				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民、文化・スポーツ団体、大学研究機関						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	都会に無い自然に恵まれた都市で、特色のある文化や歴史等に触れることによって、吹田市民にとって憩いの場、安らぎの場として、第2のふるさとを体感してもらう。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自然に恵まれた自治体との交流から、その地域の持つ文化や歴史等と触れ合うことで、市民文化の振興と創造を促進する。							
(7)	事業概要	新潟県妙高市、福井県若狭町、滋賀県高島市、大阪府能勢町、高知県土佐町、兵庫県香美町の6市町とフレンドシップ協定、及び災害時における相互応援協定を結んでいる。 都市化の進行に伴い、市内で失われつつある自然とのふれあいを求めるとともに、地域のもつ文化や歴史等の交歓を通じて体験学習や生涯学習の機会の提供を図り、市民相互の連携コミュニティ活動の振興を図る目的をもって自治体間に交流を求める。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 27	大事業 01	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		1,705	1,294	1,622	988	1,451	
		人件費	職員数	人	0.60	0.45	0.50	0.50	0.50
			総額(B)	千円	5,012	3,618	4,085	3,950	4,026
		総事業費(A+B)		6,717	4,912	5,707	4,938	5,477	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		6,717	4,912	5,707	4,938	5,477	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
その他			0	0	0	0	0		
一般財源			6,717	4,912	5,707	4,938	5,477		
財源計(C+D)		6,717	4,912	5,707	4,938	5,477			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 交流実績のあった友好交流都市数	目標値	(単位:都市)	6.00	6.00	/	
			実績値	(単位:都市)	6.00	6.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	友好交流提携実施自治体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	818.67	845.50		
				一般財源(単位:千円)	818.67	845.50		
	②	指標内容 吹田市民が訪問した友好交流事業実施件数 (文化スポーツ推進室事業所管分)	目標値	(単位:都市)	4.00	3.00		/
実績値			(単位:都市)	2.00	1.00			
達成度(%)			50.0	33.3				
目標値の積算方法	予算上実施可能件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,456.00	5,073.00			
			一般財源(単位:千円)	2,456.00	5,073.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 友好交流都市とのそれぞれの市民・町民が行き来した友好交流事業数 (文化スポーツ推進室所管分)	目標値	(単位:件)	6.00	6.00	/	
			実績値	(単位:件)	6.00	6.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	友好交流提携実施自治体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	818.67	845.50		
				一般財源(単位:千円)	818.67	845.50		
	②	指標内容 友好交流事業にて吹田市民が友好交流都市を訪問した人数 (文化スポーツ推進室事業所管分)	目標値	(単位:人)	140.00	135.00		/
			実績値	(単位:人)	61.00	55.00		
			達成度(%)		43.6	40.7		
目標値の積算方法	45人×3回	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	80.52	92.24			
			一般財源(単位:千円)	80.52	92.24			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>交流を通して本市市民が異なる文化や歴史に触れ、友好都市の持つ魅力を発見するとともに、本市の魅力を再発見し一層の住民意識やアイデンティティを高め、地域に新たな活力を見出してもらえるよう取り組んでいきます。また、交流を通してそれぞれの市町民にとって、それぞれの地が憩いの場であり、第2の故郷として体感してもらえる取り組みを行います。</p> <p>今後も各市町の特徴を活かし、双方がアイデアを出し合いながら交流の促進を図ります。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	国内都市交流事業	事業区分	その他
事務事業番号	01066				

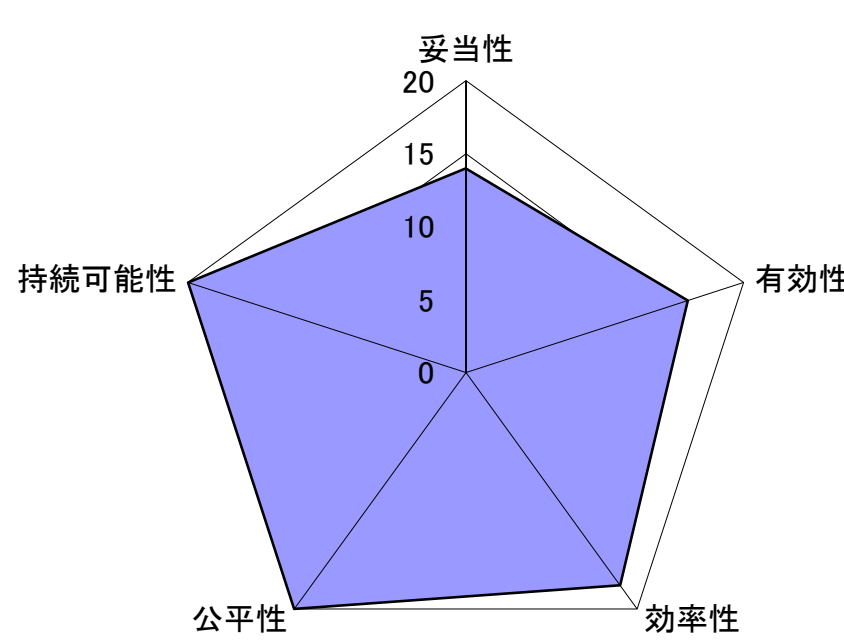
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01066
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>友好交流提携を結ぶ6市町との交流において、スポーツ、文化を中心とした、それぞれの市町民が行き来する交流を実施しています。</p> <p>また、青少年を対象にスポーツやアウトドアを通じた交流を行い、それぞれの地を訪問した子どもたちが、それぞれの地を第2の故郷として感じてもらえるよう取り組んでいます。</p> <p>これまで吹田市民が友好都市に訪問することが大半でしたが、各友好都市からも吹田市に来ていただき、本市の持つ魅力に触れていただけるよう、関係部局と連携し取り組んでいます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	国際交流事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和57年度	改正 内容	平成27年度吹田市国際交流協会事業補助金における補助対象経費の算出方法の改正。平成28年度機構改革による改正。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	都市提携盟約書、吹田市国際交流協会事業補助金交付要領、吹田市国際交流推進事業補助金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	05	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、文化・スポーツ団体等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	国際理解と国際感覚が増進される。												
(7) 事業概要	海外友好都市や他外国からの訪問団を受入れ、ホームステイや学校での交流を通して、吹田市の国際化及び市民レベルの国際交流活動の推進を図る。 また、吹田市の国際化進展を目指して、多文化共生の社会づくりを進めていく。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	27	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		15,613	6,538	12,656	10,448	11,401							
	人件費	職員数	人	0.70	0.65	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	5,847	5,226	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		21,460	11,764	20,826	18,348	19,453							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		21,460	11,764	20,826	18,348	19,453						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源			21,460	11,764	20,826	18,348	19,453							
財源計(C+D)		21,460	11,764	20,826	18,348	19,453								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益財団法人吹田市国際交流協会										
			②											
			③											
	主な委託内容		在住外国人市民支援に係る事業											
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公益財団法人吹田市国際交流協会											
		②	国際交流活動を行う市民団体											
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 日本語教室開催回数 (吹田市委託事業分)	目標値	(単位:回)	168.00	160.00	156.00	
			実績値	(単位:回)	160.00	156.00		
			達成度(%)		95.2	97.5		
	目標値の積算方法	前年度実績回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		73.53	119.35	
				一般財源(単位:千円)		73.53	119.35	
	②	指標内容	国際交流推進事業補助金交付件数	目標値	(単位:件)	6.00	6.00	6.00
実績値				(単位:件)	2.00	1.00		
達成度(%)				33.3	16.7			
目標値の積算方法		予算上最大補助可能件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5,882.00	18,618.00	
				一般財源(単位:千円)		5,882.00	18,618.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 日本語教室延べ参加者数	目標値	(単位:人)	3,024.00	2,880.00	2,808.00	
			実績値	(単位:人)	1,449.00	1,649.00		
			達成度(%)		47.9	57.3		
	目標値の積算方法	講座開催回数×定員(18名)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8.12	11.29	
				一般財源(単位:千円)		8.12	11.29	
	②	指標内容	国際交流推進事業補助金交付事業への参加者数	目標値	(単位:人)	52.00	38.00	38.00
				実績値	(単位:人)	51.00	19.00	
				達成度(%)		98.1	50.0	
目標値の積算方法		過去5年間の最大参加者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		230.67	979.89	
一般財源(単位:千円)		230.67	979.89					
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>現在、(仮称)吹田市多文化共生推進指針を策定しています。これは誰もが住みやすく魅力ある多文化共生社会の実現に向けて、日本人市民、外国人市民いずれもが相互に学び合い、協働の視点に立って活動できるまちづくりに、異文化理解を超えて、多文化共生が市民社会の活力となる施策を推進するものです。策定後は、この指針を基に具体的な施策の実施に努めていきます。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	国際交流事業	事業区分	その他
事務事業番号	01067				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01067
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(公財)吹田市国際交流協会に委託し、カンタベリバンクスタウン市からの訪問団受入れや日本語教室の実施など事業を実施しました。平成28年度においては、多文化共生について、市民向けアンケートを実施しました。今後は多文化共生にかかる指針の策定に向けた取り組みや事業の新たな担い手の検討を進め、在住外国人市民にとっても住みやすい、多文化共生のまちづくりを進めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部署	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	平成25年度から事業名を(仮称)南千里公共公益施設管理事業から千里ニュータウンプラザ施設管理事業に変更														
(2) 直近の改正	平成25年度																
(3) 根拠法令等	なし																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	05	細節	20										
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市国際交流協会														
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市の国際交流の活動の拠点となる施設の維持・管理を行うことにより、市民の国際交流活動の場を確保するとともにその促進を図る。 本市の国際化及び多文化共生の推進が円滑に図られる。															
(7) 事業概要	千里ニュータウンプラザ内における吹田市国際交流協会に係る施設・経費の管理業務事業																
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	27	大	事業	01	中	事業	02	小	事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		19,203	18,952	19,509	19,129	18,707										
	人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10										
		総額(B)	千円	836	1,608	817	790										
	総事業費(A+B)		20,039	20,560	20,326	19,919	19,513										
	(内訳)	特定財源(C)		1,656	1,523	1,776	1,439										
		国		0	0	0	0										
		府		0	0	0	0										
	その他		1,656	1,523	1,776	1,439	1,685										
	(内訳)	市負担(D)		18,383	19,037	18,550	18,480										
		地方債		0	0	0	0										
		その他		0	0	0	0										
一般財源		18,383	19,037	18,550	18,480	17,828											
財源計(C+D)		20,039	20,560	20,326	19,919	19,513											
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田南千里PFI(株)														
			②														
	主な委託内容		施設の管理維持、修繕														
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
②																	
③																	
<input type="checkbox"/> その他	内容																

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	吹田市国際交流協会面積	目標値	(単位:㎡)	253.70	253.70	253.70	
			実績値	(単位:㎡)	253.70	253.70		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	吹田市国際交流協会面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		81.04	78.73	
				一般財源(単位:千円)		75.04	73.04	
	②			目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	適正に管理された日数	目標値	(単位:日)	366.00	365.00	365.00	
			実績値	(単位:日)	366.00	365.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	適正に管理された日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		56.17	54.57	
				一般財源(単位:千円)		52.01	50.63	
	②			目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が指標で場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		在住外国人市民の支援や、本市国際化及び多文化共生社会の確立を目的として、事業実施のための施設を提供する必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01068				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01068
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 15, 有効性: 18, 効率性: 18, 公平性: 10, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>本市における国際化及び多文化共生社会の確立を図るため、(公財)吹田市国際交流協会の活動拠点として、施設の提供を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	運動あそびプログラム推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容						
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第22条							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	40	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市立の保育所、幼稚園及びこども園の園児および職員						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	各施設と連携を図り、運動あそびプログラムの普及を推進し、身体を動かすことが好きな子どもを増やして自発的な活動機会の増加につなげる。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	各施設が日常保育で運動あそびプログラムの考え方やアプローチ方法を継続的に活かすことができる仕組みを定着させ、心身ともに健やかな子どもの育ちにつなげる。							
(7)	事業概要	<p>心身ともに健康な人生を送るための土台を作る大切な幼児期に焦点を当て、一般事務(体育)による市立の保育所、幼稚園及びこども園への巡回を実施している。</p> <p>施設の職員が運動あそびプログラムの考え方やアプローチ方法を日常保育に活かせるようになることで、身体を動かすことが好きな子どもを増やすことを目指し、心身ともに健やかな子どもの育成に寄与する事業です。</p> <p>千里金蘭大学との共同研究により、保育現場で活用できる成果物(書籍、DVD)を作成し、市内の施設(私立園を含む)に配付する。</p>							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	各施設の状況(新規採用職員の有無等)により、事業参加対象の施設数が年次毎に変化するため。			目標	事業の実施方法として、各施設の状況に応じて単年度毎に事業参加対象の施設数が変わるため目標を設定することは困難である。	
	②	成果内容	在園児数は、年次毎に変動するため。			達成状況	巡回で学んだことを活かし、日常保育に取り入れて活動を実施する施設が増えている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>幼児期の活動量が、子どもの「からだ」と「こころ」の健やかな成長に大きな影響を及ぼすことが分かってきており、身体を動かすことが好きな子どもを増やすきっかけづくりのため、保育者が日常保育の中で運動あそびプログラムの考え方やアプローチ方法を取り入れた活動を継続できるようにすることを目的とした本事業は、身体を動かすために必要な3つの間(時間・空間・仲間)が減ってきたことによる身体活動量の減少といった社会的な課題を改善するためにも非常に重要な事業である。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	運動あそびプログラム推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01360				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

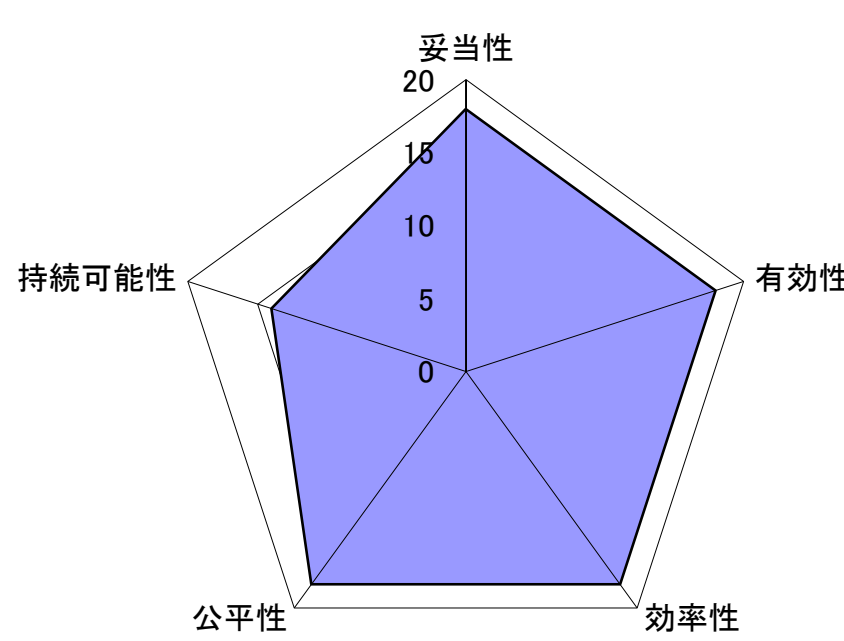
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01360
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)持続可能性③については、類似事業がないため、比較・分析することができない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>運動指導に関する専門職員による巡回は、園職員のスキルアップにつながっており、園が主体となった日常の保育に運動あそびプログラムを取入れた活動の実現に向けて効果が表れている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツ施設情報システム管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成10年度	改正内容	組織改正による					
(2)	直近の改正	平成28年度							
(3)	根拠法令等	吹田市スポーツ施設情報システムの利用に関する規則							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 03	細節 40				
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	スポーツ施設利用者						
		目標(どういう状態にしたいのか)	スポーツ施設の利用の促進及び使用許可申請等の利便性の向上を図る。また、公平・公正な施設利用を目指す。						
	結果(どのような効果が得られるのか)	スポーツグラウンドや体育館等の使用許可申請等が容易になり、利用者の利便性と向上が図れ、利用者の拡大につながる。							
(7)	事業概要	スポーツ施設情報システム(オーパス)では利用登録者のみならず、全ての施設利用希望者にインターネットや体育館等にある街頭端末機等から、スポーツ施設の案内や空き情報を公開している。また、利用登録者はインターネット等を通じ、利用申請や利用抽選の申込み等の手続きができるほか、施設使用料は翌月に預金口座から振替納付するなど、利用者の利便性の向上を図っている。							
(8)	H28事業別予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 33	大事業 02	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		10,056	11,452	10,331	10,341	11,577	
		人件費	職員数	人	1.10	1.10	1.50	1.50	1.50
			総額(B)	千円	9,188	8,843	12,256	11,850	12,078
		総事業費(A+B)		19,244	20,295	22,587	22,191	23,655	
		特定財源(C)		1,049	1,011	1,050	1,091	1,068	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	1,049	1,011	1,050	1,091	1,068	
		市負担(D)		18,195	19,284	21,537	21,100	22,587	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	18,195		19,284	21,537	21,100	22,587			
財源計(C+D)		19,244	20,295	22,587	22,191	23,655			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 オーパスシステム登録人数	目標値	(単位:人)	11,662.00	11,936.00	12,220.00
			実績値	(単位:人)	11,166.00	11,364.00	
			達成度(%)		95.7	95.2	
	目標値の積算方法	過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.82	0.91
				一般財源(単位:千円)		1.73	0.81
	②	指標内容 オーパスシステム利用件数	目標値	(単位:件)	206,977.00	197,278.00	190,526.00
実績値			(単位:件)	175,277.00	165,241.00		
達成度(%)			84.7	83.8			
目標値の積算方法		過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.12	0.06
				一般財源(単位:千円)		0.11	0.06
(2) 成果指標		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)			68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		593.42	302.37
				一般財源(単位:千円)		563.86	270.47
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		コンピューターシステムによって24時間体制で予約等が行えるなど、市民の利便性や公平性につながっており、また、平成26年度からの口座伝送化によって事務の効率化が進んでいます。今後も、市民の利便性の向上、利用者の拡大を図っていくため、継続するものです。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ施設情報システム管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01529				

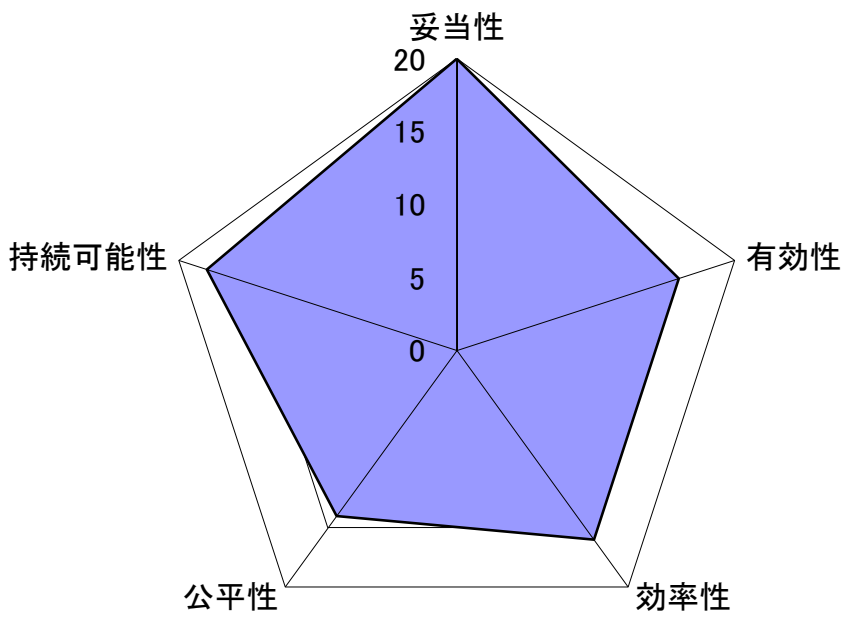
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01529
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度から長期継続契約によりASPサービス使用契約と業務用端末機のリース契約を行い、安定的な稼働を確保しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツ大会・教室等実施事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和23年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第22条						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 03	細節 40			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	吹田市内在住・在勤・在学の者					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツイベント・プログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促す。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民がそれぞれの年齢や体力、また、目的に応じて生涯を通してスポーツに親しむことができる。また、参加者がさらなる上の大会を目指して技術の向上に取り組むことで、競技スポーツの促進に繋がる。						
(7)	事業概要	市民誰もが参加できる身近なスポーツ大会である市長杯(旗)体育大会や、対外試合及び各種スポーツ教室を吹田市体育協会及び吹田市野外活動協会に委託して実施している。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 33	大事業 03	中事業 01	小事業 01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		29,004	28,094	28,882	28,608	29,581
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,086	3,950
		総事業費(A+B)		33,180	32,114	32,968	32,558	33,607
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		33,180	32,114	32,968	32,558	33,607
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	33,180		32,114	32,968	32,558	33,607		
財源計(C+D)		33,180	32,114	32,968	32,558	33,607		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会			
				②	吹田市野外活動協会			
				③				
		主な委託内容		市長杯体育大会等・一日スポーツ教室等				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 市長杯大会・各種教室開催回数	目標値	(単位:回)	89.00	89.00	93.00	
			実績値	(単位:回)	93.00	94.00		
			達成度(%)		104.5	105.6		
	目標値の積算方法	委託事業数(過去3年間の平均回数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		345.31	304.34	
				一般財源(単位:千円)		345.31	304.34	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		939.01	836.49	
				一般財源(単位:千円)		939.01	836.49	
	②	指標内容 スポーツ大会・教室等の参加者数 *実績報告は暫定です。		目標値	(単位:人)	40,035.00	40,009.00	40,013.00
				実績値	(単位:人)	36,764.00	36,169.00	
				達成度(%)		91.8	90.4	
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1、1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.87	0.79	
	一般財源(単位:千円)				0.87	0.79		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市長杯(旗)体育大会は、スポーツ教室等における日頃の練習の成果を発表する場となっており、生涯スポーツの推進において、また競技スポーツの普及においても必要不可欠な事業であり、長期的に継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ大会・教室等実施事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01530				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01530
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民誰もが気軽に参加できる最も身近なスポーツ大会として、市長杯(旗)体育大会は市民のニーズが高く、事業運営についても吹田市体育協会に委託することで効率的な運営ができていると考える。今後も、市民がより参加しやすい大会となるよう吹田市体育協会及び各主管団体と協議していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域スポーツ促進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明		改正 内容	事業別により、事業の明確化を図るため。										
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法22条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	40							
(6)	目 的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
			範囲等	地域住民											
		目標 (どういう状態にしたいのか)	さまざまなスポーツイベントを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の健康維持・増進を図る。												
(7)	事業概要	地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を積極的に推進するため、吹田市スポーツ推進委員会に委託の「全市行事」(2行事)と各地区体育振興(協議)会に委託する「地区行事」(35地区×7行事)の事業を実施している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	01	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項 目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,138	3,913	4,004	3,936	4,052							
		人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.80						
			総額(B)	千円	5,012	4,824	4,902	4,740	6,442						
		総事業費(A+B)		9,150	8,737	8,906	8,676	10,494							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		9,150	8,737	8,906	8,676	10,494						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
			一般財源		9,150	8,737	8,906	8,676	10,494						
財源計(C+D)		9,150	8,737	8,906	8,676	10,494									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施		委託先	① 吹田市スポーツ推進委員会										
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託			② 各地区体育振興(協議)会										
					③										
				主な委託内容	「全市行事」2行事「地区行事」245行事										
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先	①										
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	地域スポーツ振興事業の参加者数	目標値	(単位:人)	27,490.00	25,747.00	26,287.00
			実績値	(単位:人)	23,862.00	22,861.00	
			達成度(%)		86.8	88.8	
	目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.37	0.17	
				一般財源(単位:千円)	0.37	0.17	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)			68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)を基に、今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	255.47	115.09	
				一般財源(単位:千円)	255.47	115.09	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>広く市民にスポーツ・レクリエーション活動への参加を促していくため、また地域住民の健康・体力づくりを推進していくために欠かせない事業であるとともに、スポーツを通じて地域住民の交流の機会となり、地域コミュニティ醸成の観点からも継続して実施する必要があります。</p> <p>また、地域スポーツ関係団体との連携により、今まで運動に親しみのなかった方にも参加してもらえよう、地域行事のPR方法について関係団体と協議を行い、運動実施者の増加を図ります。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	地域スポーツ促進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01531				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01531
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>身近な場所で誰もが気軽に参加できるスポーツイベントが実施されており、地区行事においても各地区の体育振興(協議)会に委託することで、効果的・効率的な運営ができています。また、全市行事については、スポーツ推進委員会に委託することで、各地区のニーズを把握するとともに、各地区での参加者を募ることができており、地域の実情に応じた事業運営が可能となっている。</p> <p>今後は、今までスポーツ活動に参加していなかった人にも参加してもらえるよう、事業内容や周知方法を工夫する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

各視点からの評価項目一覧

(1) 妥当性	① 役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。
	a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)
	b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)
	c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)
	② この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。
	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)
	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)
	c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)
	③ 社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。
	a. 実施意義は今も増している。(5点)
	b. 実施意義は今もある。(3点)
	c. 実施意義は薄れてきている。(1点)
(2) 有効性	④ 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。
	a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)
	b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)
	c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない。(1点)
	① 活動指標や有効指標には定量的な指標設定を行っていますか。
	a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)
	b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)
	c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)
	② 事業の目的と受益者が一致していますか。
	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)
	b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)
	c. 事業の目的と受益者はずれている。(1点)
(3) 効率性	③ 事業は目標どおりに進捗していますか。
	a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)
	b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)
	c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)
	④ 市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。
	a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)
	b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)
	c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)
	① 単位あたりコストは適正ですか。
	a. 単位あたりコストは適正である。(5点)
	b. 単位あたりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)
	c. 単位あたりコストは高く、見直す必要がある。(1点)
(4) 公平性	② 迅速なサービスの提供に努めていますか。
	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)
	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)
	c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)
	③ 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。
	a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)
	b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)
	c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)
	④ 事業手法の検討、事務改善に取り組みなど、事業効率の向上に努めていますか。
	a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)
	b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)
	c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)
(5) 持続可能性	① サービスの対象範囲は適正ですか。
	内部管理
	a. 不特定多数を対象としている。(5点)
	b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)
	c. 特定の者を対象としており、受益者以外の市民から見ても、理解が得られにくい。(1点)
	② サービスの水準は適正ですか。
	内部管理
	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)
	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)
	c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)
	③ 適正な受益者負担を求めていますか。
	内部管理
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	
b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	
c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	
④ 公平性を確保するための取組をしていますか。	
内部管理	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	
b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	
c. 滞納等に対する取組が十分でなく、強化する必要がある。(1点)	
(5) 持続可能性	① 事業開始当初と比べて、事業費や市負担は大幅に増加していませんか。
	a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)
	b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)
	c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)
	② 今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。
	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)
	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)
	c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)
	③ 施行時特別市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)
	b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)
	c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)
④ 将来的にみて、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	
c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	

事務事業評価調書

事務事業名	各地区市民体育祭補助事業				
担当部署	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和35年度	改正内容	補助対象事業に係る領収書等の支払いを証する書類の保存期間新たに設ける											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法第22条、第23条、吹田市地区市民体育祭運営事業補助金要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域住民											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツイベントを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	家族や近隣の方々と共に、スポーツイベントに参加することで、体を動かすことの楽しさを感じるとともに、地域住民の親睦を深めることができ、地域スポーツの活性化につながる。												
(7) 事業概要	スポーツを楽しみながら地域住民の健康づくりや親睦を図るため、34地区(36地区中、2小学校区合同開催が2地区)において地区市民体育祭運営委員会が開催している地区市民体育祭事業について、補助を行っている。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	01	小事業	03
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		13,451	13,111	13,478	13,155	13,542							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50							
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,086	3,950							
	総事業費(A+B)		17,627	17,131	17,564	17,105	17,568							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		17,627	17,131	17,564	17,105							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	一般財源		17,627	17,131	17,564	17,105	17,568							
財源計(C+D)		17,627	17,131	17,564	17,105	17,568								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	各地区市民体育祭運営委員会										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 体育祭開催地区	目標値	(単位:地区)	34.00	34.00	34.00
			実績値	(単位:地区)	33.00	33.00	
			達成度(%)		97.1	97.1	
	目標値の積算方法	地区数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	519.12	398.64	
			一般財源(単位:千円)	519.12	398.64		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上スポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)			68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	500.91	384.65	
			一般財源(単位:千円)	500.91	384.65		
	②	指標内容 各市民体育祭の参加者数	目標値	(単位:人)	73,082.00	64,668.00	63,248.00
実績値			(単位:人)	58,941.00	56,612.00		
達成度(%)			80.7	87.5			
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.29	0.23	
			一般財源(単位:千円)	0.29	0.23		
(3) 困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>広く市民にスポーツ・レクリエーション活動への参加を促していくために欠かせない事業です。市民体育祭は、家族みんなで参加できる地域の恒例の行事となっており、地域コミュニティの醸成の観点からも有効的な事業であり、今後も継続していく必要があります。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	各地区市民体育祭補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01532				

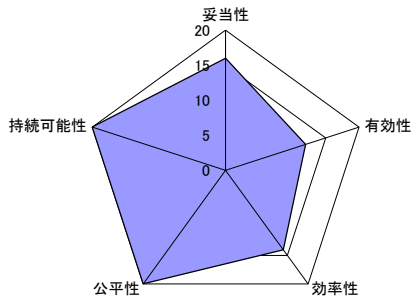
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20			
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01532
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays the following scores for each category:</p> <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Score</th></tr> <tr><td>妥当性</td><td>15</td></tr> <tr><td>有効性</td><td>10</td></tr> <tr><td>効率性</td><td>10</td></tr> <tr><td>公平性</td><td>10</td></tr> <tr><td>持続可能性</td><td>10</td></tr> </table>			Category	Score	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
Category	Score														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>幼児から高齢者まですべての地域住民が参加できる市民体育祭は、市民の健康・体力づくりだけでなく地域コミュニティの醸成にも役立っている。各地区の体育祭運営委員会が尽力して、地域住民が楽しめる内容を企画しており、有効的な事業運営ができています。今後は、さらに高齢者や障がい者の参加を促す工夫をしていく必要があると考える。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	障がい者スポーツ振興事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法 第2条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり											
		節	03												
		細節	40												
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	障がい者他												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促す												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がい者の健康、体力づくりや生きがいづくりを図ることができる。													
(7)	事業概要	体育館等の施設での視覚障がい者、肢体不自由児・者向け各種スポーツの講習会や障がい者体育祭を開催している													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	01	小事業	06
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,088	1,088	1,088	1,088	1,088							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		2,759	2,696	2,722	2,668	2,699							
		特定財源(C)		525	522	525	525	525							
		(内訳)	国		350	348	350	350	350						
			府		175	174	175	175	175						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		2,234	2,174	2,197	2,143	2,174							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			2,234	2,174	2,197	2,143	2,174								
財源計(C+D)		2,759	2,696	2,722	2,668	2,699									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	障がい者体育祭実行委員会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 障がい者スポーツ講習会及び障がい者体育祭の実施回数	目標値	(単位:回)	13.00	13.00	13.00
			実績値	(単位:回)	12.00	13.00	
			達成度(%)		92.3	100.0	
	目標値の積算方法 過去3年間の平均実施回数(平成24年度は台風による中止のため、平成25年度以降は平成24年度目標値とします。)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		224.67	83.69	
			一般財源(単位:千円)		181.17	43.31	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	
			達成度(%)		68.4	68.4	
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		78.83	31.81	
			一般財源(単位:千円)		63.57	16.46	
	②	指標内容 障がい者スポーツ講習会及び障がい者体育祭の参加者数	目標値	(単位:人)	675.00	602.00	588.00
実績値			(単位:人)	524.00	541.00		
達成度(%)			77.6	89.9			
目標値の積算方法 過去三年間の平均参加者数×1.1		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.15	2.01	
			一般財源(単位:千円)		4.15	1.04	
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		障がい者スポーツ活動に参加する環境が不十分の中、行政が積極的に関与してサービスを提供することは障がい者の健康維持増進やいきがづくり・仲間づくりとなっており、事業を継続していく必要があります。障がい者スポーツ講習会の対象は視覚障がい者でしたが、肢体不自由児・者も参加できるよう平成26年度より講習会の種目を見直し、参加人数の増加につながりました。今後も、参加者の年齢、体力に応じた見直しを図りながら継続していきます。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	障がい者スポーツ振興事業	事業区分	その他
事務事業番号	01533				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01533
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

視覚障がい者と肢体不自由児者を対象とした講習会であるが、視覚障がい者の参加者の高齢化が進み参加者数が減少している。若年層の参加を促していくには、実施日時を検討していく必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の方は自分の要望に応じてくれるヘルパーの活用により、個人で活動されていることが多くなってきています。その結果、市主催事業への参加が減少しつつあると考えます。 ・同じ方の参加であるため、新しい方の参加を呼び掛けていけるよう検討していく必要があります。 		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	生涯スポーツ指導事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成16年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法 第21条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民2歳以上												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ活動関係団体等運動に関する講義や実技指導、また、助言を行うことにより、その団体の活動内容の充実を図り、週1回の運動実施率50%達成を目指す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の運動への理解が深まることにより運動への参加が進み、市民の健康維持・増進につながる。													
(7)	事業概要	地域住民の健康増進を目的とし、他部署や地域、団体が実施する事業に専門職員を派遣し、運動に関する講義や実技指導を行い、生涯スポーツの推進を図る。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	01	小事業	07
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		133	132	177	177	0							
		人件費	職員数	人	12.00	7.80	12.00	12.00	0.00						
			総額(B)	千円	100,224	62,705	98,040	94,800	0						
		総事業費(A+B)		100,357	62,837	98,217	94,977	0							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		100,357	62,837	98,217	94,977	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	100,357		62,837	98,217	94,977	0									
財源計(C+D)		100,357	62,837	98,217	94,977	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 派遣事業依頼件数	目標値	(単位:件)	249.00	483.00	0.00
			実績値	(単位:件)	572.00	475.00	
		達成度(%)		229.7	98.3		
	目標値の積算方法 過去3年間の平均依頼件数×1.1 前年度依頼件数×0.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	109.85	0.37		
			一般財源(単位:千円)	109.85	0.37		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20から69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:回)	50.00	50.00	0.00
			実績値	(単位:回)	34.20	34.20	
		達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回)をもとに 今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,837.34	5.18		
			一般財源(単位:千円)	1,837.34	5.18		
	②	指標内容 派遣事業参加者数 <運動あそびプログラム(幼稚園・保育園) の参加者数を除く>	目標値	(単位:人)	25,004.00	12,896.00	
			実績値	(単位:人)	25,004.00	12,896.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
目標値の積算方法 新規派遣件数 (運動のきっかけづくりとした新規派遣件数 を維持:平成28年度より変更)		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.51	0.01		
	一般財源(単位:千円)		2.51	0.01			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>今まで運動に親しみのなかった方々にも運動の楽しさを体験できるプログラムの提供を行っており、平成28年度では、475件の運動指導依頼件数がありました。今後は、運動のきっかけづくりとして実施し、運動の習慣化につながるよう、事業を展開していきます。</p> <p>生涯スポーツ指導事業を運動習慣化プログラム推進事業に統合し、市民の健康づくりに、今後も一般事務(体育)職員の知識や技術を活用し、実施主体や方法についても検討しながら、事業を継続するシステムの構築を目指します。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	生涯スポーツ指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	01534				

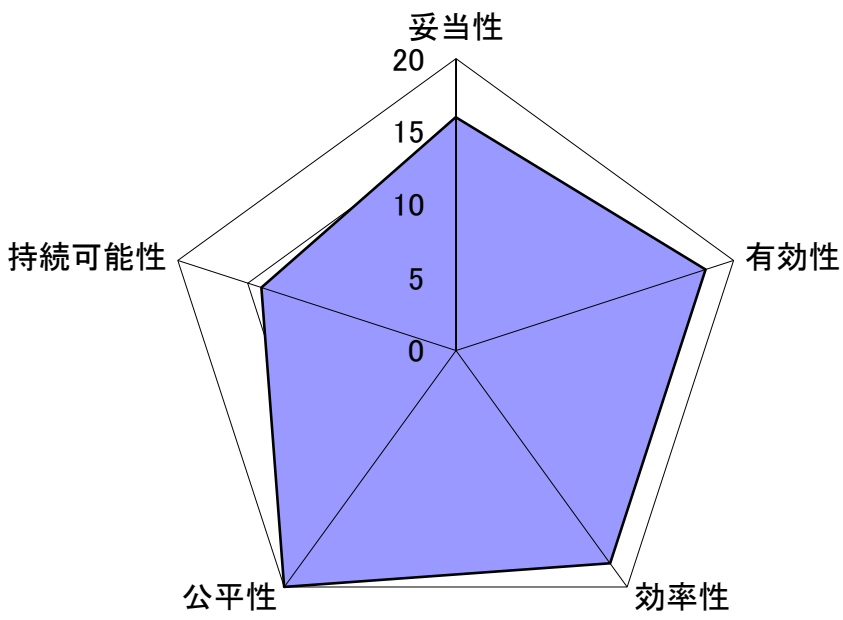
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01534
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>これまで運動に親しみのなかった方々を中心に、身近な場所で気軽に取り組める運動の紹介をし、指導や講義によって運動の必要性を理解していただくことで、健康寿命の延伸、生涯スポーツの推進に大きく貢献している事業である。 また、小学校の児童、教諭を対象とした事業は子どもの低体力等の問題解消に貢献している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

生涯スポーツ指導事業を運動習慣化プログラム推進事業に統合し、一般事務(体育)職員の知識や技術を最大限に活用しながら市民の健康づくりのサポートに取り組めます。

事務事業評価調書

事務事業名	運動習慣化プログラム推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第22条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり											
		節	03												
		細節	40												
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	あらゆる年代の運動習慣未定着層												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	あらゆる年代の運動習慣未定着層に医療等のエビデンスに基づいた運動プログラムを提供することにより、日常生活に適切な運動を定着させ、健康寿命の延伸及び幸齢社会を実現する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保健センターとの兼務によって、お互いの事業への協力、関わりを持って事業を実施することができた。													
(7)	事業概要	運動習慣未定着層に対し、日常生活に適切な運動を定着させることを目的に、医療等各専門分野の根拠に基づいた運動プログラムを提供する。市民の健康増進を目的とした事業や関連部局が実施する健康づくり事業などで一般事務(体育)職員の知識や技術を活用し、市民自らが運動を継続実施できるよう環境を整え、サポートする。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	01	小事業	08
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	654	630	771							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	2.20	2.20	5.10						
			総額(B)	千円	0	0	17,974	17,380	41,066						
		総事業費(A+B)		0	0	18,628	18,010	41,837							
		特定財源(C)		0	0	250	250	250							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	250	250	250						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	18,378	17,760	41,587							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	18,378	17,760	41,587								
財源計(C+D)		0	0	18,628	18,010	41,837									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 事業実施件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	65.00	
			実績値	(単位:件)	0.00	65.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	前年実施件数×1.0	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	9.69	
				一般財源(単位:千円)		0.00	5.85	
	②	指標内容 生涯スポーツ指導事業派遣件数 平成29年度運動習慣化プログラム推進事業に統合	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	280.00	
実績値			(単位:件)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		前年度件数×1.0	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20から69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:回)	0.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:回)	0.00	34.20		
			達成度(%)		0.0	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	18.42	
				一般財源(単位:千円)		0.00	11.11	
	②	指標内容 実施事業参加者数	目標値	(単位:人)	0.00	0.00	2,600.00	
実績値			(単位:人)	0.00	2,525.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		事業実施件数×40	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.25	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.15		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>今後は直接指導だけでなく、市民自ら進んで継続的に生涯スポーツや健康づくりに取り組めるよう、環境やきっかけづくり等のサポートがより必要となります。生涯スポーツ指導事業を運動習慣化プログラム推進事業に統合することで、一般事務(体育)職員の知識や技術を最大限に活用し、実施主体や方法についても検討しながら、事業を継続していきます。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	運動習慣化プログラム推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01535				

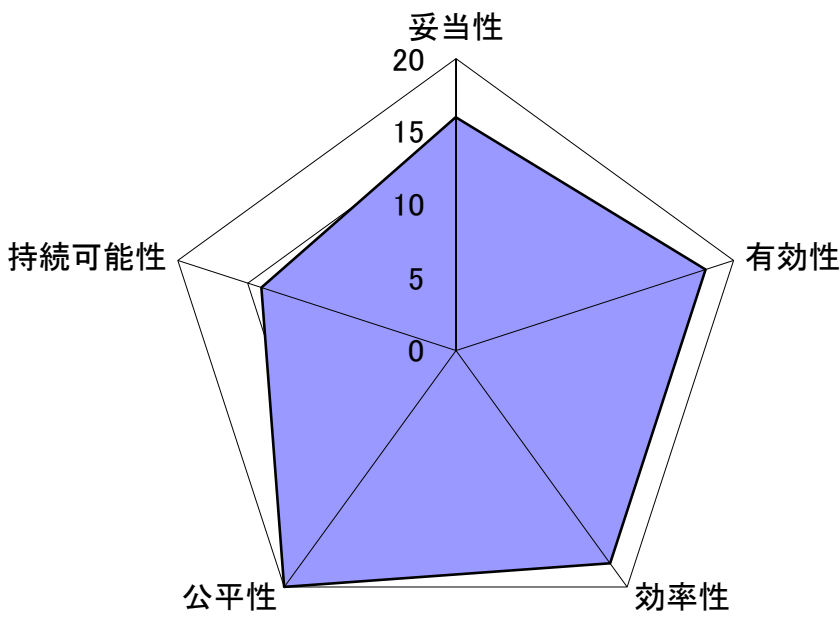
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01535
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保健センターとの連携により、健康教室の共催実施、健康ポイント制度での運動実施のポイント加算等の事業を実施することで、市民の健康に対する意識や運動の必要性についての意識を高めることができた。また、手軽に取り組むことができるウォーキングやスマイル体操を紹介し、運動習慣のきっかけづくりとなった。</p> <p>事業の継続性が維持可能かどうかを精査しながら派遣を行っている。</p> <p>今後は直接指導だけでなく、市民自ら進んで継続的に健康づくりに取り組めるよう、環境やきっかけづくりなどのサポートが必要となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

生涯スポーツ指導事業を運動習慣化プログラム推進事業に統合し、一般事務(体育)職員の知識や技術を最大限に活用しながら市民の健康づくりのサポートに取り組めます。

事務事業評価調書

事務事業名	学校体育施設開放事業				
担当部署	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和39年度	改正内容	管理指導員の制度を見直し、自主管理方式を導入することにより、管理指導員報償費を廃止した。											
(2) 直近の改正	平成20年													
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法第13条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	地域住民及び地域住民で構成する団体											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツを行う場所及びスポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体育・スポーツ活動への参加を促進することで、健康の維持、増進を図るとともに、地域スポーツの活性化を図る。												
(7) 事業概要	すべての人が身近な場所でスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指して、地域住民を対象に学校体育施設を開放している。事業運営については、各地区学校体育施設開放運営委員会に委託しており、昼間開放は小学校35校とすべての中学校で、また、夜間開放は小学校35校と中学校14校で実施している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		24,759	23,716	24,747	24,226	24,274							
	人件費	職員数	人	0.80	0.80	0.80	0.80							
		総額(B)	千円	6,682	6,432	6,536	6,320							
	総事業費(A+B)		31,441	30,148	31,283	30,546	30,716							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		31,441	30,148	31,283	30,546	30,716						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
		一般財源		31,441	30,148	31,283	30,546	30,716						
財源計(C+D)		31,441	30,148	31,283	30,546	30,716								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	各小・中学校体育施設開放運営委員会										
			②											
			③											
			主な委託内容	使用調整・管理・運営全般										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 学校体育施設開放を実施している小中学校の校数(昼間開放数夜間開放校数)	目標値	(単位:校)	108.00	108.00	/
		実績値	(単位:校)	102.00	102.00	
		達成度(%)		94.4	95.3	
	目標値の積算方法 全小中学校において、昼間及び夜間開放を実施した場合の学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	295.57	299.47	
			一般財源(単位:千円)	295.57	299.47	
	② 指標内容 学校体育施設開放実施日数	指標内容 学校体育施設開放実施日数	目標値	(単位:日)	19,257.00	
実績値			(単位:日)	18,472.00	18,010.00	
達成度(%)			95.9	93.5		
目標値の積算方法 学校体育施設開放実施日数		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.63	1.70	
			一般財源(単位:千円)	1.63	1.70	
(2) 成果指標		① 指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値		(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)を基に今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	881.52	708.36	
			一般財源(単位:千円)	881.52	708.36	
	② 指標内容 学校体育施設開放参加者数	指標内容 学校体育施設開放参加者数	目標値	(単位:人)	534,448.00	522,080.00
実績値			(単位:人)	479,969.00	468,343.00	
達成度(%)			89.8	89.7		
目標値の積算方法 過去3年間の平均実施回数×1.1		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.06	0.05	
		一般財源(単位:千円)	0.06	0.05		
(3) が困難な場合	① 活動内容				目標	
	② 成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	身近な学校体育施設を利用したこの事業は、市民の体育・スポーツ活動への参加を促進し、地域住民の体力づくりや健康の増進を図るうえで非常に重要な施策であり、生涯スポーツ社会の実現に向けて、長年に継続していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	学校体育施設開放	事業区分	その他
事務事業番号	01536				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01536
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校体育施設は、地域住民誰もが気軽にスポーツに慣れ親しむことができる場となっている。目的の趣旨から受益者負担は求めているため、有効性は低くなっているが、事業運営を各地区の学校体育施設開放運営委員会に委託することで、効果的な運営ができていると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	中学校運動場ナイター施設開放事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和58年度	改正内容	ナイター施設を設置している中学校7校のうち、5校が冬期開放を実施。											
(2) 直近の改正	平成23年度													
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法 第13条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	ナイター施設を設置した各中学校ごとに定められた地域に在住、在勤、在学の者で構成された団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	スポーツを行う場所を提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
(7) 事業概要	スポーツに親しむ機会が少ない成人が、身近な場所で仲間とスポーツを楽しむことができるように、中学校運動場ナイター施設を開放している。事業運営については、中学校ナイター開放運営委員会に委託しており、7中学校で実施し、うち5校については、冬期(12月～3月)も実施している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	02	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,231	5,105	5,695	4,749	22,193							
	人件費	職員数	人	0.50	0.60	0.50	0.50							
		総額(B)	千円	4,176	4,824	4,086	3,950							
	総事業費(A+B)		9,407	9,929	9,781	8,699	26,219							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	3,490	3,343	3,338						
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	3,490	3,343	3,338						
	(内訳)	市負担(D)		9,407	9,929	6,291	5,356	22,881						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	9,483							
一般財源			9,407	9,929	6,291	5,356	13,398							
財源計(C+D)		9,407	9,929	9,781	8,699	26,219								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	各中学校ナイター開放運営委員会										
			②											
			③											
	主な委託内容		各中学校ナイター開放運営委員会											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 通常期(4月~11月)に加え、冬期(12月~3月)も開放している中学校数	目標値	(単位:校)	7.00	7.00	/
			実績値	(単位:校)	5.00	5.00	
			達成度(%)		71.4	71.4	
	目標値の積算方法 ナイター施設を設置している全中学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,985.80	949.80		
			一般財源(単位:千円)	1,985.80	281.20		
	②	指標内容 ナイター施設開放日数(7校)	目標値	(単位:日)	1,387.00	1,387.00	
実績値			(単位:日)	1,044.00	987.00		
達成度(%)			75.3	71.2			
目標値の積算方法 ナイター施設開放可能日数(5校:365日、2校:244日)×0.6		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.51	4.81		
			一般財源(単位:千円)	9.51	1.42		
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	/
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	
			達成度(%)		68.4	68.4	
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	290.32	138.86		
			一般財源(単位:千円)	290.32	41.11		
	②	指標内容 ナイター施設開放参加者数	目標値	(単位:人)	28,414.00	28,961.00	
実績値			(単位:人)	26,360.00	25,114.00		
達成度(%)			92.8	86.7			
目標値の積算方法 過去3年間の平均実施回数×1.1		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.38	0.19		
	一般財源(単位:千円)		0.38	0.06			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		身近な学校運動場ナイター施設を利用したこの事業は、市民、特に体を動かす機会が少なくなりがちな勤労者の体育・スポーツ活動への参加を促進し、体力づくりや健康の増進を図るうえで非常に重要な施策であり、生涯スポーツ社会の実現に向けて長期に継続していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	中学校運動場ナイター施設開放事業	事業区分	その他
事務事業番号	01537				

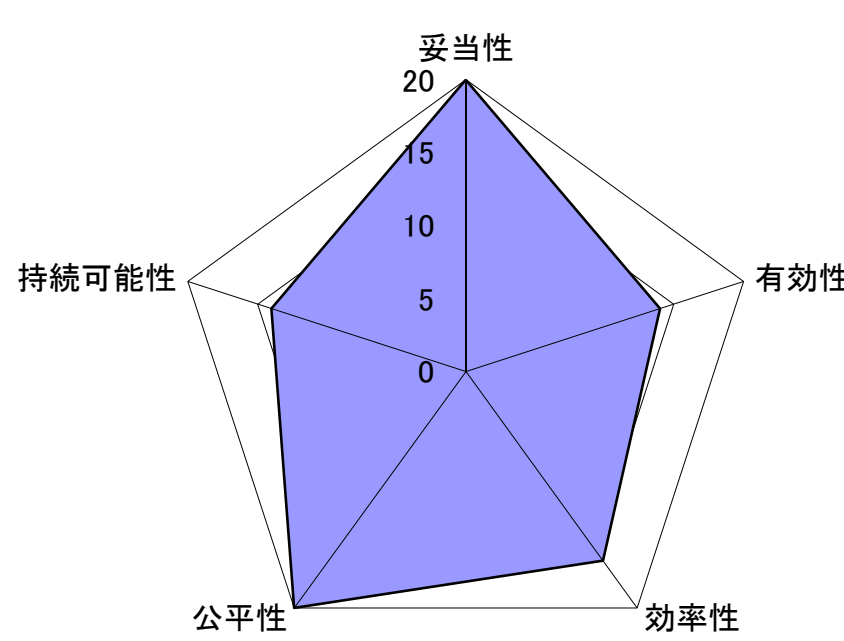
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01537
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>冬期開放(12月～3月)をしていない学校が2校ありましたが、平成29年度から1校については、12月、1月の2か月間開放することとなりました。残る1校につきましても、平成28年度末に運動場の改善工事がされたことから、その改善状況の確認した後、冬期開放を検討しているところであります。また、事業運営については、各中学校ナイター開放運営委員会に委託することで、効果的な運営ができていると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里山武道教室事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和59年度	改正内容	管理指導員の制度を見直し、自主管理方式を導入することにより、管理指導員報償費を廃止した。											
(2)	直近の改正	平成20年度													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法 第13条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツプログラムを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体育・スポーツ・武道の振興を促進することで、健康の維持、増進を図るとともに、地域スポーツの活性化を図る。													
(7)	事業概要	身近な場所でスポーツになれ親しむため、千里山武道教室運営委員会に委託し、千里山・佐井寺図書館、千里第二小学校及び千里第三小学校で武道教室を開催している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	02	小事業	03
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		68	45	68	45	57							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		1,739	1,653	1,702	1,625	1,668							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		1,739	1,653	1,702	1,625	1,668						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			1,739	1,653	1,702	1,625	1,668								
財源計(C+D)		1,739	1,653	1,702	1,625	1,668									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	千里山武道教室運営委員会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 千里山武道教室実施回数	目標値	(単位:回)	223.00	209.00	194.00	
			実績値	(単位:回)	178.00	177.00		
			達成度(%)		79.8	84.7		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9.29	0.25	
				一般財源(単位:千円)		9.29	0.25	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:過去3年間の)	50.00	50.00	50.00	
			実績値	(単位:過去3年間の)	34.20	34.20		
			達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		48.33	1.32	
				一般財源(単位:千円)		48.33	1.32	
	②	指標内容	千里山武道教室の延べ参加者数	目標値	(単位:人)	5,800.00	4,765.00	4,461.00
				実績値	(単位:人)	3,507.00	4,007.00	
				達成度(%)		60.5	84.1	
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.47	0.01	
		一般財源(単位:千円)		0.47	0.01			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		身近な場所で武道に親しむ事ができるこの事業は、市民の体力向上や青少年の健全育成のためにも必要な事業であり、生涯スポーツの推進という観点からも今後も継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	千里山武道教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	01538				

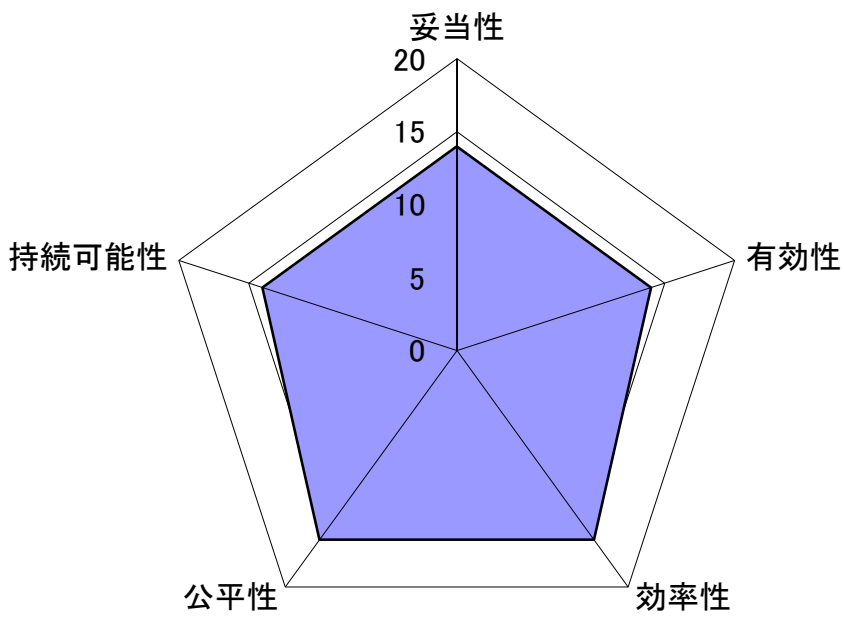
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01538
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>身近な場所で武道に親しむことができ、市民の体力向上や青少年の健全育成に役立っている。また、事業運営については千里山武道教室運営委員会に委託することで効率的な運営ができていると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域スポーツ指導者養成・研修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和49年	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第11条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市スポーツ推進委員、吹田市社会体育リーダー等指導者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地域スポーツ指導者・高齢者や障がい者スポーツ指導者の養成及び資質の向上を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域スポーツ指導者の資質の向上により、より安全できめ細かなプログラムの提供ができ、身近な場所でのスポーツ活動への参加を促進することが出来る。													
(7)	事業概要	地域スポーツの推進を図るため、住民への指導や助言、企画立案を行う社会体育リーダーを養成するとともに、事業の実施に係る連絡調整、実技指導、スポーツに関する指導助言を行うスポーツ推進委員と社会体育リーダーの資質の向上を目的として各種研修会を実施している。また、高齢者スポーツや障がい者スポーツの指導者に対し、指導力、実践力の向上を目指した講習会を実施している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,585	1,339	2,304	2,085	1,494							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,086	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		5,761	5,359	6,390	6,035	5,520							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		5,761	5,359	6,390	6,035	5,520							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			5,761	5,359	6,390	6,035	5,520								
財源計(C+D)		5,761	5,359	6,390	6,035	5,520									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域スポーツ指導者養成講座の受講者数	目標値	(単位:人)	121.00	128.00	115.00
			実績値	(単位:人)	131.00	73.00	
			達成度(%)		108.3	57.0	
	目標値の積算方法	過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	40.91	28.56	
				一般財源(単位:千円)	40.91	28.56	
	②	指標内容 地域スポーツ指導者研修会の開催数	目標値	(単位:回)	41.00	34.00	34.00
実績値			(単位:回)	37.00	34.00		
達成度(%)			90.2	100.0			
目標値の積算方法		必要開催数の確保	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	144.84	61.32	
				一般財源(単位:千円)	144.84	61.32	
(2) 成果指標	①	指標内容 地域スポーツ指導者養成講座の認定者数	目標値	(単位:人)	61.00	52.10	51.30
			実績値	(単位:人)	34.00	45.00	
			達成度(%)		55.7	86.4	
	目標値の積算方法	過去3年間の平均認定者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	157.62	46.33	
				一般財源(単位:千円)	157.62	46.33	
	②	指標内容 地域スポーツ指導者研修会の参加者数	目標値	(単位:人)	1,776.00	1,284.06	1,401.77
実績値			(単位:人)	965.00	1,215.00		
達成度(%)			54.3	94.6			
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.55	1.72	
		一般財源(単位:千円)	5.55	1.72			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		地域住民のニーズに応じたプログラムを提供していくため、地域における、体育・スポーツ活動の実践的指導・助言にあたる指導者の養成と資質の向上を目的とした研修会を実施する必要がある。講座、研修内容の見直しを行いながら、長期的に継続していく。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	地域スポーツ指導者養成・研修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01539				

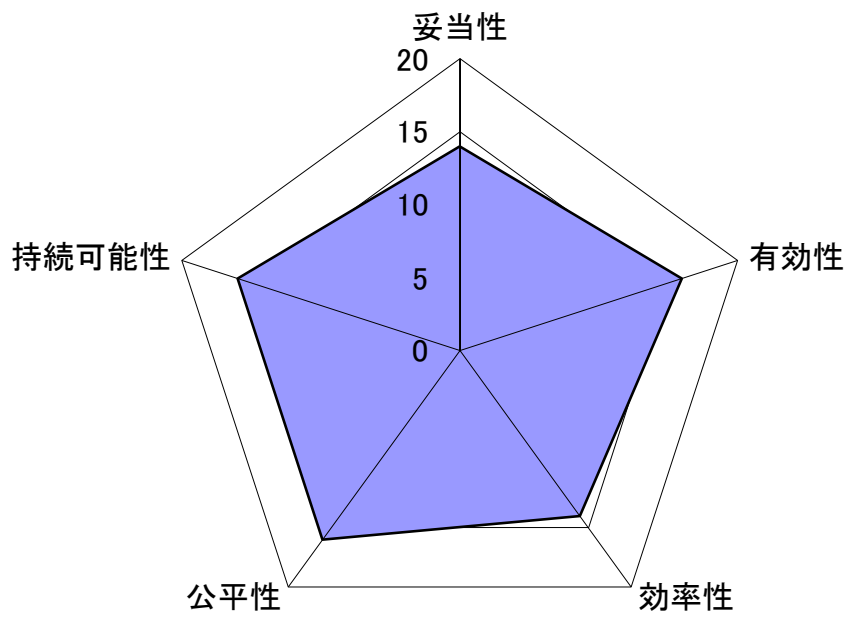
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01539
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Appropriateness), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 15, 有効性: 12, 効率性: 10, 公平性: 8, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>地域スポーツ指導者も高齢化しており、体力的にも厳しい状況の場合もあるため、若い指導者の養成と育成が必要とされています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	競技スポーツ指導者養成・研修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第11条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	競技スポーツ指導者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	競技スポーツ指導者の養成及び研修をすることにより、技術の向上だけでなく、安全対策やトレーニング方法などあらゆる角度から指導者として資質向上を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	競技スポーツ指導者の資質の向上により、安全できめ細かなプログラムを提供することができ、市民自身の目的や体力に応じたスポーツ活動に取り組むことができる。													
(7)	事業概要	各競技スポーツの指導者を養成・確保するため、吹田市体育協会に委託して、実技養成講座やスポーツ理論を含めた共通講義、また各種研修会を実施している。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	03	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,001	492	1,001	520	547							
		人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
			総額(B)	千円	2,088	2,010	2,043	1,976	2,013						
		総事業費(A+B)		3,089	2,502	3,044	2,496	2,560							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		3,089	2,502	3,044	2,496	2,560							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			3,089	2,502	3,044	2,496	2,560								
財源計(C+D)		3,089	2,502	3,044	2,496	2,560									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会										
				②											
				③											
		主な委託内容		競技スポーツ指導者養成事業の企画運営等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 スポーツ指導者養成に関わる講座開催数	目標値	(単位:回)	25.00	25.00	15.00
			実績値	(単位:回)	5.00	5.00	
			達成度(%)		20.0	20.0	
	目標値の積算方法	依頼している講座開催数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		500.40	104.00
				一般財源(単位:千円)		500.40	104.00
	②	指標内容 研修実施回数	目標値	(単位:回)	18.00	19.00	17.00
実績値			(単位:回)	16.00	17.00		
達成度(%)			88.9	89.5			
目標値の積算方法		過去3年間の実績値平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		156.38	30.59
				一般財源(単位:千円)		156.38	30.59
(2) 成果指標	①	指標内容 スポーツ指導員の認定者数	目標値	(単位:人)	50.00	51.00	36.00
			実績値	(単位:人)	20.00	25.00	
			達成度(%)		40.0	49.0	
	目標値の積算方法	過去3年間の平均認定者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		125.10	20.80
				一般財源(単位:千円)		125.10	20.80
	②	指標内容 スポーツ指導員の研修会参加者数	目標値	(単位:人)	753.00	864.00	855.00
実績値			(単位:人)	807.00	756.00		
達成度(%)			107.2	87.5			
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.10	0.69
			一般財源(単位:千円)		3.10	0.69	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		生涯スポーツの推進ために、各競技スポーツ指導員を養成することは行政が担うべき事業であるとする。今後も、市民が安心して様々なスポーツプログラムに参加できるよう、各競技団体と協力しながら、指導者の養成及び資質の向上を図っていくことは重要な施策であり、将来的な展望を持ち計画的に取り組んでいく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	競技スポーツ指導者養成・研修事業	事業区分	その他
事務事業番号	01540				

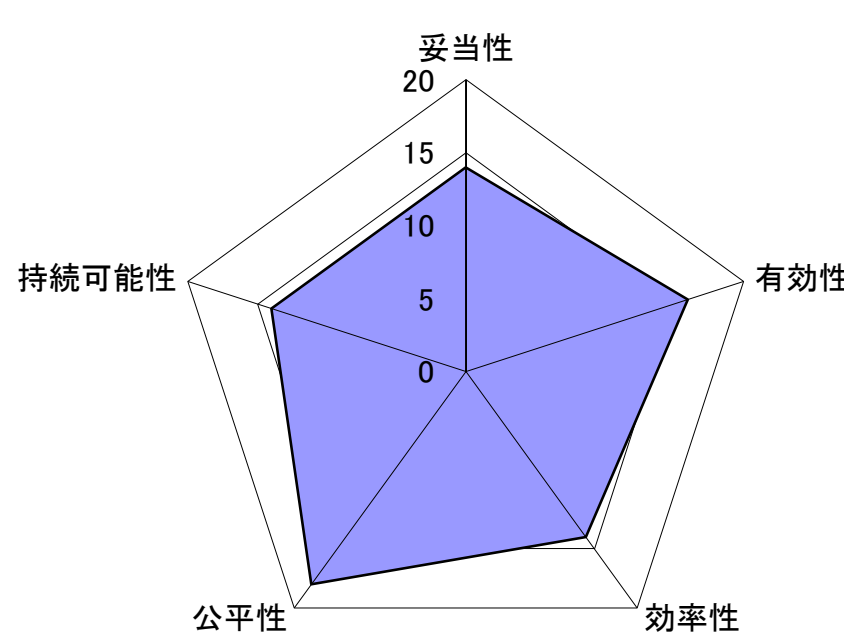
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14			
評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01540
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各種競技スポーツの指導者を養成し、指導員の資質の向上を目的とした研修会等を開催することで市民に様々なプログラムを提供することができている。今後はさらに多くの種目において指導者の養成と、資質向上を図り、高齢化による指導者不足を解消する取り組みをしていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	社会体育関係団体育成事業				
担当部署	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和43年度	改正内容	なし																	
(2) 直近の改正	なし																			
(3) 根拠法令等	スポーツ基本法第34条																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	30													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他															
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	・吹田市スポーツ推進委員会 ・吹田市社会体育リーダー協議会 ・吹田市体育協会																	
	結果 (どのような効果が得られるのか)	各スポーツ事業の運営や指導等の問題点を知り、スムーズなスポーツプログラムの展開ができる。																		
(7) 事業概要	多種多様なスポーツ種目が普及しつつある中、市民ニーズに応えたきめ細やかなスポーツプログラムを提供していくため、社会体育関係団体の育成を図る。																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大	事	業	03	中	事	業	04	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		285	233	285	175	179													
	人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25												
		総額(B)	千円	2,088	2,010	2,043	1,976	2,013												
	総事業費(A+B)		2,373	2,243	2,328	2,151	2,192													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
	その他		0	0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		2,373	2,243	2,328	2,151	2,192												
		地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
一般財源		2,373	2,243	2,328	2,151	2,192														
財源計(C+D)		2,373	2,243	2,328	2,151	2,192														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田市スポーツ推進委員会																	
			② 吹田市社会体育リーダー協議会																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ 吹田市体育協会																	
団体の指導者研修																				
<input type="checkbox"/> その他		内容																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	社会体育団体研修会の開催数	目標値	(単位:回)	3.00	3.00	3.00
			実績値	(単位:回)	3.00	3.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	主要社会体育団体の数 吹田市スポーツ推進委員会・吹田市社会体育リーダー協議会、吹田市体育協会	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	747.67	717.00	
				一般財源(単位:千円)	747.67	717.00	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)			68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	65.58	62.90	
				一般財源(単位:千円)	65.58	62.90	
	②	社会体育団体研修会の参加者数	目標値	(単位:人)	216.00	206.80	208.60
実績値			(単位:人)	190.00	194.00		
達成度(%)			88.0	93.8			
目標値の積算方法		過去3年間の平均参加者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.81	11.09	
			一般財源(単位:千円)	11.81	11.09		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	生涯スポーツを推進していくためには、各社会体育団体の育成は必要不可欠なことである。今後も各団体の組織強化と、それぞれのスポーツ指導員の資質の向上を図るため、事業を継続していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	社会体育関係団体育成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01541				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01541
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各社会体育関係団体が自らの役割を担っていくために必要な研修会を実施していますが、今後も常に時代の流れを視野に入れた研修内容になるように各団体と調整し、多種多様な市民ニーズに応えられる内容の研修会となる必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツグラウンド管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和39年度	改正 内容	組織改正、使用料改定による											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立スポーツグラウンド条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	スポーツグラウンド(野球・テニス)利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使っていただけるよう維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上及び健康の増進が図られる。													
(7)	事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、スポーツグラウンド(5か所)の維持管理を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	34	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		90,476	91,777	92,713	92,093	91,466							
		人件費	職員数	人	0.20	0.30	0.30	0.30	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	2,412	2,452	2,370	1,611						
		総事業費(A+B)		92,147	94,189	95,165	94,463	93,077							
		特定財源(C)		27,713	28,336	28,078	25,085	28,164							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	27,713	28,336	28,078	25,085	28,164							
		市負担(D)		64,434	65,853	67,087	69,378	64,913							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	64,434		65,853	67,087	69,378	64,913									
財源計(C+D)		92,147	94,189	95,165	94,463	93,077									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	スポーツテクノ和広・吹田市体育協会グループ										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	スポーツグラウンド利用人数	目標値	(単位:人)	265,230.00	268,675.00	257,593.00
			実績値	(単位:人)	248,744.00	201,386.00		
		達成度(%)				93.8	75.0	
	目標値の積算方法	過去3年間の実績人数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.38	0.46	
				一般財源(単位:千円)		0.26	0.33	
	②	指標内容	スポーツグラウンドの利用率 (利用時間合計/利用可能時間合計 × 100)	目標値	(単位:%)	68.10	66.90	65.80
実績値				(単位:%)	66.00	64.40		
達成度(%)				96.9	96.3			
目標値の積算方法		過去3年間の利用率平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,427.11	1,430.02	
				一般財源(単位:千円)		997.77	1,040.50	
(2) 成果指標	①	指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20		
		達成度(%)				68.4	68.4	
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,754.06	2,692.78	
				一般財源(単位:千円)		1,925.53	1,959.30	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>野球、テニス等やスポーツ教室、大会だけでなく、中の島・桃山台グラウンドでは空きを利用して、サッカー・グラウンドゴルフ、ラクロス等の利用を行い、有効活用を図っています。</p> <p>今後も、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民に安心・安全に利用してもらえるスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツグラウンド管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01542				

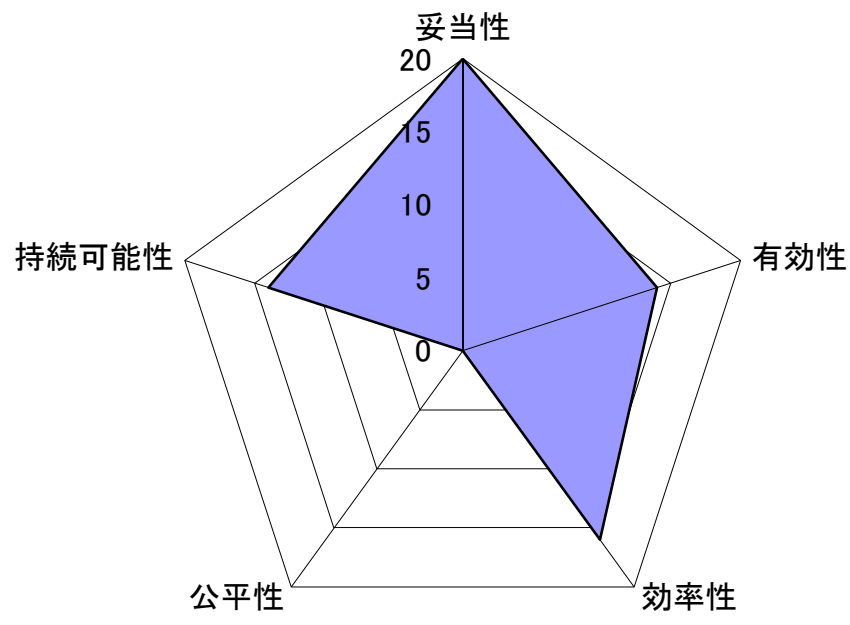
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01542
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>市民のスポーツ・レクリエーションの場として、4施設のテニスコート及び野球場を開放しており、特にテニスコートは、多くの市民に利用されています。</p> <p>また、中の島スポーツグラウンドの野球場は、冬期限定でサッカーコートとしての利用や平日にはグラウンドゴルフ場として利用する等、野球以外の種目の専用使用や教室、大会等を開催し、活用の幅が広がっています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツグラウンド改修事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和39年度	改正 内容	指定管理者候補者選定委員会設置条項の追加											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市立スポーツグラウンド条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	スポーツグラウンド(野球・テニス利用者)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう、スポーツグラウンドの改修を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の安全性が確保される。													
(7)	事業概要	スポーツグラウンドにおいて、長期修繕計画により計画的に改修工事を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	34	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,707	2,528	32,232	28,232	38,134							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	804	818	790	806						
		総事業費(A+B)		3,543	3,332	33,050	29,022	38,940							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		3,543	3,332	33,050	29,022	38,940							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			3,543	3,332	33,050	29,022	38,940								
財源計(C+D)		3,543	3,332	33,050	29,022	38,940									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	スポーツグラウンド利用人数	目標値	(単位:人)	265,230.00	268,675.00	257,593.00
			実績値	(単位:人)	248,744.00	201,386.00	/	
		達成度(%)			93.8	75.0		
	目標値の積算方法	過去3年間の実績人数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.01		0.14
				一般財源(単位:千円)		0.01	0.14	
	②	指標内容	スポーツグラウンドの利用率 (利用時間合計/利用時間合計 * 100)	目標値	(単位:%)	68.10	66.90	65.80
実績値				(単位:%)	66.00	64.40	/	
達成度(%)				96.9	96.3			
目標値の積算方法		過去3年間の利用率平均値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		50.48		438.39
				一般財源(単位:千円)		50.48	438.39	
(2) 成果指標	①	指標内容	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	/	
		達成度(%)			68.4	68.4		
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		97.43		825.50
				一般財源(単位:千円)		97.43	825.50	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>全スポーツ施設とも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。 今年度は南正雀スポーツグラウンドのテニスコート5面の全面張替えを行い、修繕による段差なども解消され、安全、快適にご利用いただけるように整備を行いました。 今後も長期修繕計画に基づき計画的に、大規模な改修や整備を行う必要があります。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツグラウンド改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01543				

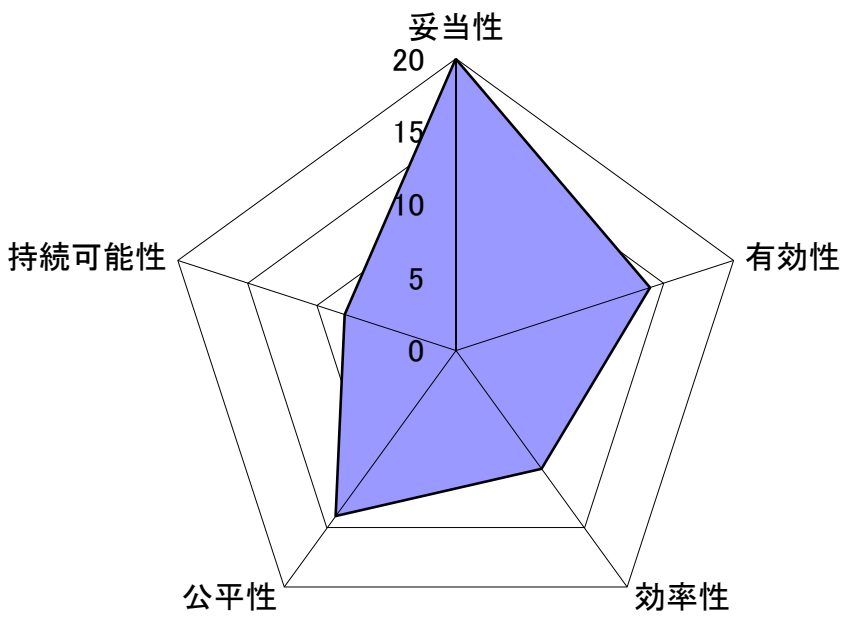
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	8	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	66	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01543
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各スポーツグラウンドとも老朽化が著しく、修繕や改修に係る経費が増大しています。平成28年度は南正雀スポーツグラウンドの人工芝張替工事及び附帯設備の購入を行いました。平成29年度は山田スポーツグラウンドの管理棟及び外壁改修工事を行います。今後も大規模な改修や整備も必要なため、長期修繕計画に基づき、計画的に修繕を行う必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	運動場広場等管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等								
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 03	細節 10				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 運動広場利用者					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	市民の健康の保持・増進を図るとともに、地域住民のコミュニティの場を提供する。						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力向上並びに健康の増進が図られる。						
(7)	事業概要	市の遊休地(青山台、藤白台)2か所と府からの借用地(新御堂、春日)2か所を利用し、土地の利用が決定するまでの間、地域の市民にスポーツ・レクリエーション及び憩いの場を提供する。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 34	大事業 02	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		5,095	4,896	235	428	235	
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	806
		総事業費(A+B)		6,766	6,504	1,869	2,008	1,041	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		6,766	6,504	1,869	2,008	1,041	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
その他	0		0	0	0	0			
一般財源	6,766		6,504	1,869	2,008	1,041			
財源計(C+D)		6,766	6,504	1,869	2,008	1,041			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	地域(藤白台連合自治協議会等)へ運営・管理を依頼している。							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動			目標	地域による自主的な運営のため、数値目標は設定していない。	
	②	成果内容	地域の自主管理のもと、スポーツ・レクリエーション活動を行う。			達成状況	実績数等は不明。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		暫定的な遊休地利用として、地域住民のスポーツの機会の創設だけでなく、地域住民の憩いの場としても活用されています。					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	運動広場等管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01544				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	10	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	8	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	55	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01544
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共用地の利用が決定されるまでの間、暫定的に運動広場として整備し、地域住民のスポーツ活動及び憩いの場として活用されています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

暫定的な遊休地利用として、地域住民のスポーツ機会の創設及び地域住民の憩いの場として活用されています。青山台・藤白台運動広場は公共施設最適化計画の動向により使用できなくなることがあります。

事務事業評価調書

事務事業名	片山市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和47年度	改正内容	組織改正、使用料改定による											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民体育館利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進を図られる。													
(7)	事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、片山市民体育館の維持管理を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	35	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		100,238	98,990	99,094	99,624	99,185							
		人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	1,608	818	790	806						
		総事業費(A+B)		101,074	100,598	99,912	100,414	99,991							
		特定財源(C)		17,193	18,337	17,617	17,986	18,735							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	17,193	18,337	17,617	17,986	18,735							
		市負担(D)		83,881	82,261	82,295	82,428	81,256							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	83,881		82,261	82,295	82,428	81,256									
財源計(C+D)		101,074	100,598	99,912	100,414	99,991									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				片山市民体育館の管理・運営							
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 片山市民体育館の利用人数	目標値	(単位:人)	143,692.00	146,196.00	149,871.00
			実績値	(単位:人)	133,464.00	139,164.00	
		達成度(%)		92.9	95.2		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.75	0.72		
			一般財源(単位:千円)	0.62	0.59		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20	
		達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,941.46	2,912.98		
			一般財源(単位:千円)	2,405.29	2,387.08		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては、時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	片山市民体育館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01545				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01545
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays the following scores for each dimension:</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当性: 20 有効性: 15 効率性: 10 公平性: 5 持続可能性: 5 		
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	北千里市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和55年度	改正内容	組織改正、使用料改定による											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市民体育館利用者												
	目標(どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られる。												
(7) 事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、北千里市民体育館の維持管理を行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	35	大	01	中	02	小	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		79,056	78,531	79,576	79,462	79,087							
	人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	835	1,608	817	790							
	総事業費(A+B)		79,891	80,139	80,393	80,252	79,893							
	特定財源(C)		17,832	17,551	18,057	18,384	19,145							
	(内訳)	国	154	156	154	0	154							
		府	77	78	77	0	77							
		その他	17,601	17,317	17,826	18,384	18,914							
	市負担(D)		62,059	62,588	62,336	61,868	60,748							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	62,059	62,588	62,336	61,868	60,748							
財源計(C+D)		79,891	80,139	80,393	80,252	79,893								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス											
			②											
			③											
	主な委託内容		北千里市民体育館の管理・運営											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	北千里市民体育館利用人数	目標値	(単位:人)	126,451.00	125,982.00	129,334.00		
			実績値	(単位:人)	120,775.00	119,902.00			
			達成度(%)		95.5	95.2			
	②	過去3年間の実績数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.66	0.67		
				一般財源(単位:千円)		0.51	0.52		
				達成度(%)		0.0	0.0		
(2) 成果指標	①	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツの実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00		
			実績値	(単位:%)	34.20	34.20			
			達成度(%)		68.4	68.4			
	②	過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,343.00	2,346.55		
				一般財源(単位:千円)		1,830.06	1,809.01		
				達成度(%)		0.0	0.0		
(3) が困難な場合	①	活動内容	目標						
			②	成果内容	達成状況				
					達成度(%)		0.0	0.0	
	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00			
					一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
評価の説明		幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。 また、今年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては、時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。 今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。							

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	北千里市民体育館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01546				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01546
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> <p>妥当性: 20 有効性: 15 効率性: 10 公平性: 5 持続可能性: 5</p> </div>		
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	山田市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和61年度	改正内容	組織改正、使用料改定による											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民体育館利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進を図られる。													
(7)	事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、山田市民体育館の維持管理を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	35	大事業	01	中事業	03	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		79,954	79,872	85,515	83,680	85,468							
		人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	1,608	818	790	806						
		総事業費(A+B)		80,790	81,480	86,333	84,470	86,274							
		特定財源(C)		19,563	20,369	19,840	19,566	19,657							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	19,563	20,369	19,840	19,566	19,657							
		市負担(D)		61,227	61,111	66,493	64,904	66,617							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	61,227		61,111	66,493	64,904	66,617									
財源計(C+D)		80,790	81,480	86,333	84,470	86,274									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				山田市民体育館の管理・運営							
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 山田市民体育館の利用人数	目標値	(単位:人)	177,120.00	177,119.00	179,321.00
			実績値	(単位:人)	163,189.00	163,741.00	
		達成度(%)		92.1	92.4		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.50	0.51		
			一般財源(単位:千円)	0.37	0.39		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,382.46	2,446.78		
			一般財源(単位:千円)	1,786.87	1,874.68		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては、時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	山田市民体育館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01547				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01547
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	南吹田市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和55年度	改正 内容	組織改正、使用料改定による											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民体育館利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進を図られる。													
(7)	事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、南吹田市民体育館の維持管理を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	35	大事業	01	中事業	04	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		69,053	67,778	68,479	67,312	70,646							
		人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	1,608	818	790	806						
		総事業費(A+B)		69,889	69,386	69,297	68,102	71,452							
		特定財源(C)		11,991	13,149	12,056	13,832	13,710							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	11,991	13,149	12,056	13,832	13,710							
		市負担(D)		57,898	56,237	57,241	54,270	57,742							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	57,898		56,237	57,241	54,270	57,742									
財源計(C+D)		69,889	69,386	69,297	68,102	71,452									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				南吹田市民体育館の管理・運営							
①															
②															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 南吹田市民体育館の利用人数	目標値	(単位:)	87,149.00	86,208.00	90,284.00
			実績値	(単位:)	80,504.00	88,125.00	
		達成度(%)		92.4	102.2		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.86	0.76		
			一般財源(単位:千円)	0.70	0.61		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:)	34.20	34.20	
		達成度(%)		68.4	68.4		
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,028.83	1,968.19		
			一般財源(単位:千円)	1,644.36	1,563.74		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては、時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	南吹田市民体育館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01548				

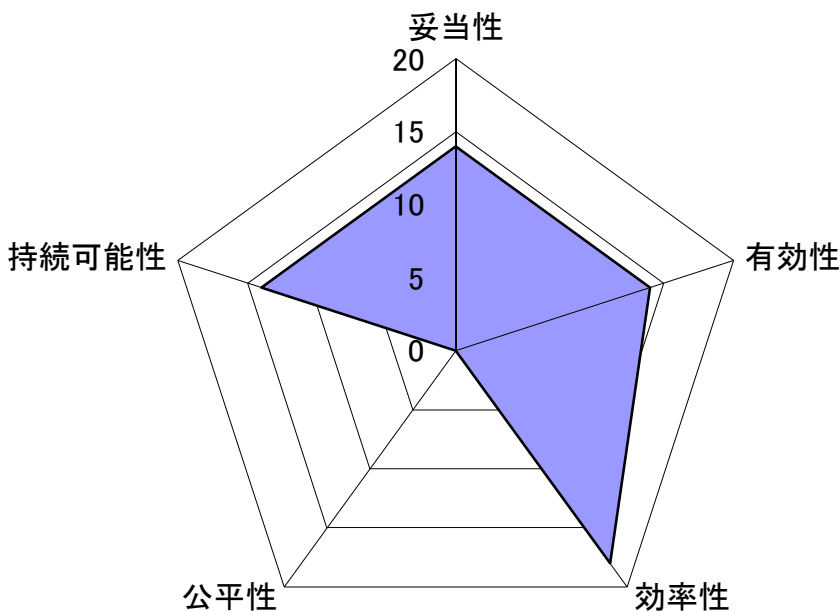
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01548
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	目俵市民体育館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正内容	組織改正、使用料改定による											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民体育館条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民体育館利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進を図られる。													
(7)	事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、個人使用や専用使用、及び各種スポーツ教室や大会等を開催するとともに、目俵市民体育館の維持管理を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	35	大事業	01	中事業	05	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		134,951	134,184	136,110	136,730	135,220							
		人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	836	1,608	818	790	806						
		総事業費(A+B)		135,787	135,792	136,928	137,520	136,026							
		特定財源(C)		21,890	22,392	21,964	23,634	23,625							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	21,890	22,392	21,964	23,634	23,625							
		市負担(D)		113,897	113,400	114,964	113,886	112,401							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	113,897		113,400	114,964	113,886	112,401									
財源計(C+D)		135,787	135,792	136,928	137,520	136,026									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 目録市民体育館利用人数	目標値	(単位:人)	170,126.00	164,188.00	167,504.00
			実績値	(単位:人)	149,252.00	155,130.00	
		達成度(%)		87.7	94.5		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.91	0.88		
			一般財源(単位:千円)	0.76	0.73		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,970.53	3,997.95		
			一般財源(単位:千円)	3,315.79	3,306.90		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層の市民に利用してもらえるよう、個人使用、専用使用、各種スポーツ教室や大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。</p> <p>また、今年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては、時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。</p> <p>今後も、安心・安全なスポーツ・レクリエーションの場を提供し、市民の健康づくりや生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。</p>				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	目埭市民体育館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01549				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01549
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>施設管理・教室運営等を指定管理者が担っています。 平成28年度から使用料改定があり、トレーニング室個人使用においては時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図りました。 今後、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	市民プール管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和37年度	改正 内容	組織改正、使用料改定による											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	吹田市民プール条例・同条例施行規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民プール利用者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションの場を提供し、施設利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られる。													
(7)	事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、市民プール(4か所は夏期(7~8月)、うち1か所は温水(通年))の維持管理を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	36	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		204,141	207,147	295,364	284,199	259,917							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.40	0.00	0.30						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	3,268	0	2,416						
		総事業費(A+B)		205,812	208,755	298,632	284,199	262,333							
		特定財源(C)		53,787	53,372	45,709	50,338	50,423							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		53,787	53,372	45,709	50,338	50,423						
		市負担(D)		152,025	155,383	252,923	233,861	211,910							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			152,025	155,383	252,923	233,861	211,910								
財源計(C+D)		205,812	208,755	298,632	284,199	262,333									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	コナミスポーツ・南海ビルサービス										
				②											
				③											
		主な委託内容		市民プールの管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 市民プール利用人数	目標値	(単位:人)	332,070.00	318,170.00	304,684.00
			実績値	(単位:人)	289,110.00	283,200.00	/
		達成度(%)		87.1	89.0		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.72	1.00		
			一般財源(単位:千円)	0.54	0.83		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	/
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6,103.95	8,309.91		
			一般財源(単位:千円)	4,543.36	6,838.04		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		<p>夏期プールは、低廉なレジャー施設として家族連れや子どもを中心に幅広い層に利用されています。しかし、レクリエーションの多様化やライフスタイルの変化により年々利用者が減少していることや、施設の老朽化が進んでいることなどにより、南千里市民プールと中の島市民プールを昨年閉鎖し、通年利用できる片山市民プールと規模の大きい北千里市民プールの2施設に集約をし、市民が安心、安全に利用できるように施設の充実を図るものです。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	市民プール管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01550				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01550
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>市民のレクリエーション、スポーツの場として活用されていますが、1年中利用できる温水プールが片山市民プールのみで、ニュータウン方面から温水プールの設置要望が出ています。 また、平成27年度で南千里と中の島市民プールが廃止となり、片山、北千里市民プールにおいて、市民が安心、安全に利用できるよう施設整備の充実に努めています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	武道館管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正内容	組織改正、使用料改定による											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市立武道館条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	武道館利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られる。												
(7) 事業概要	多くの市民に武道やスポーツの場を提供するため、武道館の維持管理を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	37	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		93,775	93,551	96,194	95,933	95,323							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.40	0.40							
		総額(B)	千円	1,671	1,608	3,268	3,160							
	総事業費(A+B)		95,446	95,159	99,462	99,093	96,934							
	特定財源(C)		13,218	12,847	12,556	11,635	11,702							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	13,218	12,847	12,556	11,635	11,702							
	市負担(D)		82,228	82,312	86,906	87,458	85,232							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		82,228	82,312	86,906	87,458	85,232								
財源計(C+D)		95,446	95,159	99,462	99,093	96,934								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
			②											
			③											
	主な委託内容		武道館の管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 武道館利用人数	目標値	(単位:人)	105,350.00	106,213.00	108,862.00
			実績値	(単位:人)	98,892.00	99,286.00	/
		達成度(%)		93.9	93.5		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.96	0.97		
			一般財源(単位:千円)	0.83	0.85		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	/
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,782.43	2,805.06		
			一般財源(単位:千円)	2,406.78	2,464.85		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		武道の専門的施設として、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民に使用してもらえるよう、個人使用、専門使用、各種スポーツ教室や武道大会を開催し、利用者数も順調に増加しています。 また、今年度から指定管理者が変わり、券売機を導入したことにより受付の簡素化を図りました。 今後も、安心・安全な武道の場を提供し、武道の普及や生涯スポーツの振興を図るため、継続するものです。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	武道館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01551				

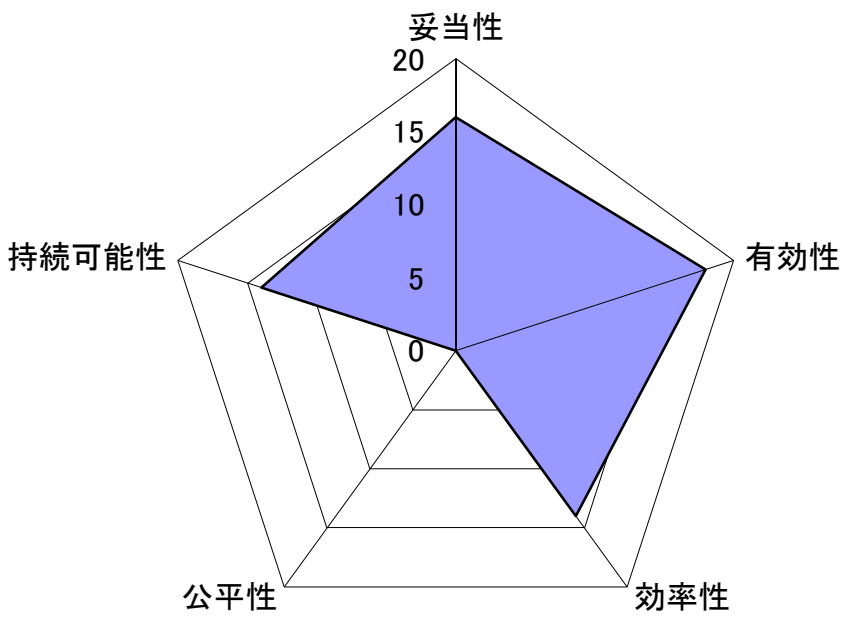
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01551
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度から指定管理者が変わり、券売機を導入したことにより受付方法を簡素化し、市民の利便性の向上及び効率化を図ることができました。 今後、利用者の利便性や安全性の向上のため、老朽化に伴う施設の維持補修や抜本的な整備が必要となります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	総合運動場管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正内容	組織改正、使用料改定による											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市総合運動場条例・同条例施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	総合運動場利用者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の体力の向上並びに健康の増進が図られる。												
(7) 事業概要	多くの市民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため、総合運動場の維持管理を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	38	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		92,630	91,835	95,984	96,396	91,289							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.40	0.40	0.30						
		総額(B)	千円	2,506	2,412	3,268	3,160	2,416						
	総事業費(A+B)		95,136	94,247	99,252	99,556	93,705							
	特定財源(C)		7,873	8,637	0	6,732	6,714							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	7,873	8,637	0	6,732	6,714							
	市負担(D)		87,263	85,610	99,252	92,824	86,991							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		87,263	85,610	99,252	92,824	86,991								
財源計(C+D)		95,136	94,247	99,252	99,556	93,705								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービス										
			②											
			③											
	主な委託内容		総合運動場の管理・運営											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 総合運動場利用人数	目標値	(単位:人)	124,147.00	120,437.00	124,611.00
			実績値	(単位:人)	109,628.00	116,804.00	/
		達成度(%)		88.3	97.0		
	目標値の積算方法 過去3年間の実績数の平均値×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.86	0.83		
			一般財源(単位:千円)	0.78	0.77		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20	/
	達成度(%)		68.4	68.4			
	目標値の積算方法 過去の市民意識調査(4年に1回実施)をもとに今後の増加を目指し設定。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,755.76	2,818.60		
			一般財源(単位:千円)	2,503.22	2,621.75		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		<p>平成6年に供用を開始し、第4種公認陸上競技場として陸上競技の普及に努めるとともに、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ等、各種スポーツ教室や大会を開催し、小学生から高齢者まで幅広い層に利用されています。</p> <p>現在、フィールド、トラックの状態が悪く、改修の時期に来ていることから、全面改修に向けて計画的に進めていきます。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	総合運動場管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01552				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01552
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>第4種公認陸上競技場として、陸上競技大会や教室の実施、またフィールドではサッカーやラグビー、グラウンドゴルフ等、広く市民の方に利用されています。平成28年度から、指定管理者による券売機の導入やトラック、トレーニング室の個人使用において、時間制の使用方法に変わり、市民サービスや利便性の向上を図り、利用者の増加に繋がりました。 今後、トラック、フィールド部分の全面改修を計画的に進めていく必要があります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	サッカースタジアム管理事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	市立吹田サッカースタジアム条例・同条例施行規則							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 03	細節 10				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等	スタジアム利用者				
		目標 (どういう状態にしたいのか)	プロサッカーの試合その他スポーツ活動等の催しの用に供することにより、スポーツの推進及び青少年の健全育成並びに市民相互及び地域間の交流が図られるよう、施設の維持管理を行う。						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	賑わい及び活力のあるまちづくりが図られる。						
(7)	事業概要	プロサッカーの試合をはじめ、スポーツの推進や地域交流等を目的とした活動へ施設の貸出を行うとともに、安心・安全に利用できるよう、スタジアムの維持管理を行う。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 39	大事業 01	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	500,853	156,900	155,996	151,533	
		人件費	職員数	人	0.00	2.00	0.90	0.90	0.90
			総額(B)	千円	0	16,078	7,354	7,110	7,247
		総事業費(A+B)		0	516,931	164,254	163,106	158,780	
		特定財源(C)		0	500,276	151,279	151,069	151,297	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	500,276	151,279	151,069	151,297	
		市負担(D)		0	16,655	12,975	12,037	7,483	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	0		16,655	12,975	12,037	7,483			
財源計(C+D)		0	516,931	164,254	163,106	158,780			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社ガンバ大阪				
				②					
				③					
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容					
①	スタジアムの管理運営								
②									
③									
<input type="checkbox"/> その他		内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	スタジアムの利用件数	目標値	(単位:件)	360.00	895.00	769.00
			実績値	(単位:件)	407.00	584.00	/	
		達成度(%)		113.1	65.3			
	目標値の積算方法	過去3年間までの実績数の平均値 * 1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,270.10	267.12		
		一般財源(単位:千円)		40.92	8.44			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	スタジアムの利用者数	目標値	(単位:人)	250,000.00	600,000.00	600,000.00
			実績値	(単位:人)	132,546.00	719,336.00	/	
		達成度(%)		53.0	119.9			
	目標値の積算方法	「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.90	0.22		
				一般財源(単位:千円)	0.13	0.01		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>平成27年10月に供用を開始し、平成28年2月のこけら落としより、本格的に稼働しています。平成28年度には、プロサッカーの試合をはじめ、指定管理者が行う自主事業(スタジアムツアー)や市主催のパブリックビューイング、市民ふれあい事業を実施し、サッカーファンをはじめとする、様々な市民の来場を促すことで、賑わい及び活力のあるまちづくりの推進を図るとともに、安心・安全に利用していただけるよう、施設の維持管理を行っています。</p> <p>さらに、国際試合等の招致や市民利用の拡大を図り、多くの方々が来場することにより、吹田市の魅力の発信元となるよう、継続して実施するものです。</p>					

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	サッカースタジアム管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01553				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

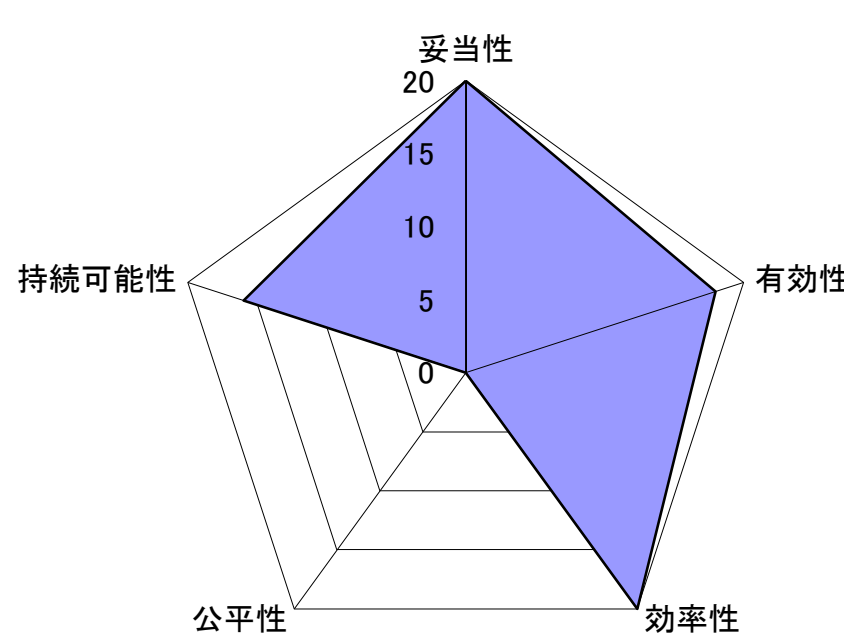
所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01553
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5) 持続可能性

③については、市から委託料を払わず、利用料金制の指定管理者制度を使った管理運営を行うという類似事業がないため比較・分析することができない。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2) 各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3) 現状分析															

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	サッカースタジアム基金積立事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	吹田市積立基金条例							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節 03	細節 10				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 市立吹田サッカースタジアム					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	指定管理者のガンバ大阪が負担する大規模修繕費を本市のサッカースタジアム基金に積み立て、将来的な大規模修繕に備える。						
		結果 (どのような効果が得られるのか)	同基金に積み立てることで計画的に大規模修繕を行うことができ、安心・安全な施設運営ができる。						
(7)	事業概要	「市立吹田サッカースタジアムの管理に関する基本協定書」の規定に基づき、ガンバ大阪から大規模修繕費として支払いを受け、同スタジアムの将来的な大規模修繕に備え、サッカースタジアム基金に積み立てる。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 40	大事業 01	中事業 01	小事業 01	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	50,000	50,000	50,000	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10
			総額(B)	千円	0	0	818	790	806
		総事業費(A+B)		0	0	50,818	50,790	50,806	
		特定財源(C)		0	0	50,000	50,000	50,000	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	50,000	50,000	50,000
		市負担(D)		0	0	818	790	806	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	818	790	806		
財源計(C+D)		0	0	50,818	50,790	50,806			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 大規模修繕計画どおりに積立てる。	目標値	(単位:千円)	0.00	50,000.00	50,000.00
			実績値	(単位:千円)	0.00	50,000.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法 大規模修繕計画による。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 大規模修繕計画どおりに積立てる。	目標値	(単位:千円)	0.00	50,000.00	50,000.00
			実績値	(単位:千円)	0.00	50,000.00	
			達成度(%)		0.0	100.0	
	目標値の積算方法 大規模修繕計画による。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	1.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		「市立吹田サッカースタジアム大規模修繕計画」に基づく金額を指定管理者から支払いを受け、サッカースタジアム基金へ積み立てることで、計画的に大規模修繕を実施することができる。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	サッカースタジアム基金積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01554				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01554
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

- (1) 妥当性
 ④については、将来的な大規模修繕費の積立のため、直接的な市民ニーズはない。
- (3) 効率性
 ②については、将来的な大規模修繕費の積立のため、迅速にサービス提供する性質のものではない。
 ④については、将来的な大規模修繕のために積立している段階のため、事業効率の向上を検討する段階ではない。
- (5) 持続可能性
 ②についての事業費の増大は、指定管理者負担の積立額が傾斜的に増額するためである。
 ③については、指定管理者の負担で大規模修繕費を積立するという類似事業がないため比較・分析することができない。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	スポーツ大会参加経費助成事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和60年度	改正内容	助成対象者、助成対象大会を縮小し、宿泊費の助成を廃止した。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市スポーツ大会参加経費助成金交付要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	40							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市在住・在勤・在学で全国大会等に出場するもの。											
	結果(どのような効果が得られるのか)	参加選手の費用負担を軽減、競技スポーツの普及・促進。												
(7) 事業概要	社会体育活動の一環として、国、地方公共団体、又は社会教育関係団体が主催(共催)する全国的な規模のスポーツ大会に、府代表として参加する者に対して、その経費(交通費)の一部を助成する。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	01	小事業	04
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		500	266	500	314	500							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		2,171	1,874	2,134	1,894	2,111							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,171	1,874	2,134	1,894	2,111							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,171	1,874	2,134	1,894	2,111								
財源計(C+D)		2,171	1,874	2,134	1,894	2,111								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	全国規模の大会に参加する選手。											
		②	①に掲げる者の介助のために同行する者。											
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 スポーツ大会参加経費助成金の種目数	目標値	(単位:種目)	15.00	15.00	14.00
			実績値	(単位:種目)	14.00	10.00	
			達成度(%)		93.3	66.7	
	目標値の積算方法	過去3年間の平均種目数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	133.86	31.40	
				一般財源(単位:千円)	133.86	31.40	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:人)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:人)	34.20	34.20	
			達成度(%)		68.4	68.4	
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査【4年に1回実施】をもとに今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	54.80	9.18	
				一般財源(単位:千円)	54.80	9.18	
	②	指標内容	スポーツ大会参加経費助成金の申請者数	目標値	(単位:)	70.00	77.00
実績値				(単位:)	70.00	57.00	
達成度(%)				100.0	74.0		
目標値の積算方法		過去3年間の平均申請者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	26.77	5.51	
一般財源(単位:千円)	26.77	5.51					
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		この事業は、大阪府の予選会を経て、全国大会に出場された方に対し、市が一定のサポートをしていく事業であり、生涯スポーツの促進、また競技スポーツの普及につながっており、継続する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	スポーツ大会参加経費助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	01555				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01555
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>実施要綱に定める助成対象者の審査基準では、在住者にあっても対象外となる事例があるため、過去の実績を基に見直しが必要か検討する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	健康づくり推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和61年	改正 内容	吹田市健康づくり推進事業補助金交付要領の第14条にて、保存期間10年の明記と第15条に、補助金の適正な執行状況を把握するため調査若しくは、質問させることができる文言を追加。											
(2)	直近の改正	平成25年													
(3)	根拠法令等	スポーツ基本法第22条・吹田市健康づくり水深事業補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市在住・在勤・在学の者(吹田万博国際ふれあいマラソンは、市外も含む)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	スポーツイベントを提供し、スポーツ活動への参加を促す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	健康づくり事業に参加することが、今後、自らの体力や年齢に応じたスポーツ活動に参加するきっかけとなり、生涯スポーツの促進につながる。													
(7)	事業概要	市民の健康づくりを推進するために、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団が開催する「てくてくハイク」、「スカイクロス&シャトルゴルフ」、「スポーツフェスティバル」、「吹田万博国際ふれあいマラソン」の4事業に対して補助を行っている。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	33	大事業	03	中事業	01	小事業	05
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		15,601	15,601	14,412	14,412	14,058							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		17,272	17,209	16,046	15,992	15,669							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		17,272	17,209	16,046	15,992	15,669						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			17,272	17,209	16,046	15,992	15,669								
財源計(C+D)		17,272	17,209	16,046	15,992	15,669									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	健康づくりフェスティバルの実施回数	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	4.00	
			実績値	(単位:回)	4.00	4.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	過去3年間の平均実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,302.25	3,603.00	
				一般財源(単位:千円)		4,302.25	3,603.00	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	成人(20~69歳)の週1回以上のスポーツ実施率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
	実績値			(単位:%)	34.20	34.20		
	達成度(%)			68.4	68.4			
	目標値の積算方法	過去の市民意識調査(4年に1回実施)を基に、今後の増加を目指し設定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		503.19	421.40	
				一般財源(単位:千円)		503.19	421.40	
	(4) 総合評価	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容				目標		
②	成果内容				達成状況			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		生涯スポーツの推進という観点からも、市民の方々がいろいろな健康づくり推進事業に参加することで、身体を動かすことの楽しさを実感すると共に、このようなイベントを実施することで継続的にスポーツ活動が続けていけるきっかけづくりになっているため、事業を継続していく必要があると考えます。今後も、各社会体育関係団体協力のもと、低体力者や子ども等、市民が気軽に参加できる健康づくりの場として事業に取り組んでいく必要があります。						

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	健康づくり推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01556				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01556
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	12	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	12														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>健康づくり推進事業を実施することにより、市民誰もが気軽にスポーツに触れ合う機会の提供がされていますが、今後さらに市民ニーズを把握しながら充実していく事業内容となるよう取り組んでいく必要があります。さらに、健康寿命延伸の観点からも充実した事業となるように、事業内容の変更も視野に入れ、福祉保健部及び健康づくり推進事業団と協議をしていきます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成30年度に向けて、保健センター所管の「平和・健康リレーマラソン」と文化スポーツ推進室所管の「吹田万博国際ふれあいマラソン」の統合を含めた事業の見直しや、市民誰もが参加できる「ウォーキング」や「ノルディック・ウォーク」の事業の開催等、補助事業の見直しを進めています。

事務事業評価調書

事務事業名	ホームタウン推進事業				
担当部名	都市魅力部	室課名	文化スポーツ推進室	室課長名	熱田 徹

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	03	細節	40
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市立吹田サッカースタジアムに本拠地を置くガンバ大阪を市が率先して応援することと合わせて、市民をスタジアムへ招待することや、ガンバ大阪を応援する団体との連携を深め、オール吹田での取組みを目指す。 ガンバ大阪やスタジアムに触れ合うことで、ホームタウンの意識の醸成が図られ、ガンバ大阪に関連して賑わいの創出、地域の活性化、ふるさとへの愛着が生まれる。					
(7) 事業概要	スタジアムを活動の場として、ガンバ大阪の協力を得て、パブリックビューイングや市民ふれあい事業を実施し、ホームタウンの意識の醸成を図る。						
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	3,441	1,676	3,303
	人件費	職員数	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
		総額(B)	0	0	8,170	7,900	8,052
	総事業費(A+B)		0	0	11,611	9,576	11,355
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	11,611	9,576	11,355
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	3,441	1,676	3,303
		一般財源	0	0	8,170	7,900	8,052
財源計(C+D)		0	0	11,611	9,576	11,355	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	市民ふれあい事業への参加小学校数	目標値	(単位:校)	0.00	0.00	36.00
			実績値	(単位:校)	0.00	20.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	市立小学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	83.80		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	市立吹田サッカースタジアムの年間利用者数(Jリーグ等プロの試合の観客数は除く)	目標値	(単位:人)	0.00	0.00
実績値				(単位:人)	0.00	39,246.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		過去3年の平均利用者数×1.1	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.04		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	スタジアムを活動の場として、ガンバ大阪の協力を得て、パブリックビューイングや市民ふれあい事業を実施			目標	ホームタウンの意識の醸成		
	②	成果内容	パブリックビューイングの参加者数・1,502人 市民ふれあい事業の参加校及び参加人数・20校、2,101人			達成状況	意識の醸成は数値化できないが、参加の市民は、満足度も高く(アンケート調査実施)ガンバ大阪の試合観戦希望の声も多い	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	<p>今まで、ガンバ大阪やサッカーに親しみがなかった市民が、気軽に参加しスタジアムやガンバ大阪に触れ合うことができる事業を実施することで、入場してピッチを見るだけで驚きや感動を市民の心に残し、国内では1番臨場感のあるスタジアムであるとの評価を実感していただくことができました。</p> <p>また、吹田市の小学生は卒業するまでに1度はスタジアムのピッチでガンバ大阪とサッカーをやるということを目指し、事業の中身を精査し、全校参加を目指します。</p> <p>さらに、ネーミングライツ導入によって、民間企業とスポンサー契約の締結が可能になった場合、新たに得た財源を活用し、事業の拡充を図ることを見込んでいます。</p>						

事務事業分析シート

所属名	文化スポーツ推進室	事業名	ホームタウン推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01678				

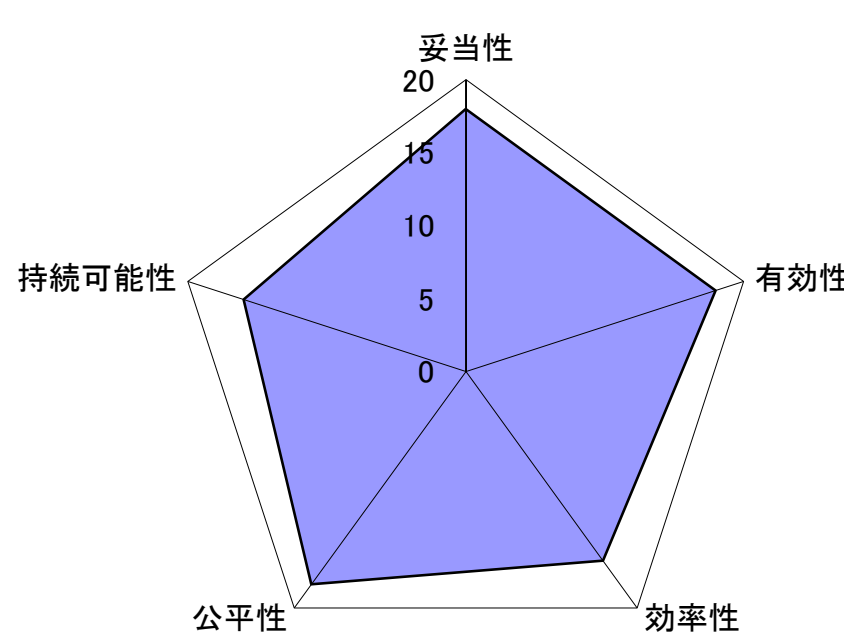
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	文化スポーツ推進室	事務事業番号	01678
-----	-----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>スタジアムを活用し、子どもたちの記憶に残るようなイベントや、市内全域でガンバ大阪を応援することで、スポーツ推進や地域の活性化につながるような催しを実施し、ガンバ大阪のホームタウンの意識の醸成を図ることに貢献している事業である。 今後は、ガンバ大阪をはじめ、後援会などの関係団体との連携をさらに深め、ガンバ大阪のあるまちとしての市の魅力を高めることが求められています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)